

2025年度事業報告

I 法人本部事務局

1 適正かつ効率的な法人経営等

(1) 理事会・評議員会等の開催状況

開催日	会議名	議題
4月10日(火)	評議員選任委員会	議案 評議員の選任について(再任9名 新任2名)
6月3日(火)	第1回理事会	第1号議案 2024年度事業報告 第2号議案 2024年度決算報告及び監査報告 第3号議案 任期満了に伴う理事及び監事の選任提案 第4号議案 会計監査人の選任提案及び報酬額の決定 第5号議案 就業規則等の一部改正 第6号議案 評議員選任委員会委員の選任 第7号議案 定時評議員会の招集 報告事項 1 第2次経営計画の2024年度達成状況及び2025年度進行予定 2 社会福祉充実残額の算定結果 3 理事長専決事項の報告 (1) 給与規程の一部改正 (2) 非常勤職員就業規則の一部改正 4 その他
6月24日(火)	定時評議員会	議案 第1号議案 2024年度事業報告 第2号議案 2024年度決算報告 第3号議案 任期満了に伴う理事及び監事の選任 第4号議案 会計監査人の選任 報告事項 1 第2次経営計画の2024年度達成状況及び2025年度進行予定 2 その他
6月24日(火)	第2回理事会	議案 第1号議案 理事長及び業務執行理事の選任 第2号議案 業務執行理事の担当業務
11月4日(火)	第3回理事会	議案 第1号議案 第2回評議員会の招集 報告事項 1 2025年度上半期の事業報告

		2 2025 年度上半期の収支状況報告 3 2025 年度上半期の第 2 次経営計画の進捗状況 4 第 3 次経営計画案に関する意見聴取 5 理事長専決事項の報告 (1) 経理規程の一部改正 6 その他
11 月 25 日(火)	第 2 回評議員会	報告事項 1 2025 年度上半期の事業報告 2 2025 年度上半期の収支状況報告 3 2025 年度上半期の第 2 次経営計画の進捗状況 4 第 3 次経営計画案に関する意見聴取 5 その他
3 月 10 日(火)	第 4 回理事会	議 案 第 1 号議案 2026 年度事業計画案 第 2 号議案 2026 年度予算案 第 3 号議案 第 3 次経営計画案 第 4 号議案 役員等損害賠償責任保険契約の締結 第 5 号議案 第 3 回評議員会の招集 報告事項 1 2025 年度内部監察の結果 2 理事長専決事項の報告 (1) 就業規則及び非常勤職員就業規則の一部改正 3 その他
3 月 24 日(火)	第 3 回評議員会	報告事項 1 2026 年度事業計画 2 2026 年度予算 3 第 3 次経営計画 4 その他

(2) 内部監察の実施

【監察項目】 公用車の管理方法・寄附金及び寄附物品の取り扱い・公金外現金及び物品購入依頼書・ネットバンキング管理状況・2024 年度年休取得状況・通勤手段の確認方法

実施日	施設名	結果及び改善是正状況
9 月 1 日(月)	横浜療育医療センター	指摘事項なし
9 月 11 日(木)	地域療育センターあおぼ	軽微な指摘事項あり、全て改善・是正済
9 月 12 日(金)	横浜医療福祉センター港南	指摘事項なし
9 月 26 日(金)	たちほどがや	軽微な指摘事項あり、全て改善・是正済
9 月 29 日(月)	法人本部事務局	軽微な指摘事項あり、全て改善・是正済

(3) 寄附金受入れ状況

施設名	金額	件数
法人本部事務局	-	-
横浜医療福祉センター港南	192,000 円	4 件
横浜療育医療センター	1,190,000 円	5 件
地域療育センターあおば	24,408 円	1 件
たちほどがや	1,220,342 円	6 件
寄附金総額	2,626,750 円	16 件

(4) 発生主義による会計処理の実施

発生主義による会計処理の効率性を高めるため、キャッシュレス決済の一環としてクレジットカード及びプリペイドカードによる決済の普及を促進し、費用計上の即時性や小口現金精算に係る事務処理の効率化を図った。

2 第2次経営計画の推進と分析

(1) 経営会議、理事会及び評議員会で進捗報告

実施日	活動内容
9月16日(火)	本部会議 上半期進捗報告
9月16日(火)	横浜医療福祉センター港南 上半期進捗報告
9月18日(木)	たちほどがや 上半期進捗報告
9月22日(月)	地域療育センターあおば 上半期進捗報告
9月30日(火)	横浜療育医療センター 上半期進捗報告
11月4日(火)	第3回理事会 上半期進捗報告
11月25日(火)	第2回評議員会 上半期進捗報告
4月16日(木)	たちほどがや 下半期進捗報告
4月21日(火)	横浜医療福祉センター港南 下半期進捗報告
4月27日(月)	地域療育センターあおば 下半期進捗報告
4月28日(火)	横浜療育医療センター 下半期進捗報告

3 第3次経営計画の策定

- (1) 2026年度から始まる3か年について、第2次経営計画の進捗状況と拠点の計画を分析し、理事及び評議員からの意見を踏まえたうえで、第3次経営計画を策定した。人材の確保・育成・定着を中心として着実な達成を目指す。

4 人材の確保・育成・定着

- (1) 各施設の安定的な運営を支える職員の採用・確保 (()内は前年度実績)
- ・職員採用数【常勤、限定常勤】 87人(96人)
 - ※ 看護師 37人(28人)、生活支援員 22人(24人)、保育士 6人(10人)、
児童指導員 1人(3人)、その他 21人(31人)
 - ・職員退職数【常勤、限定常勤】 79人(77人)
 - ※ 看護師 27人(30人)、生活支援員 33人(26人)、保育士 5人(4人)、
児童指導員 2人(1人)、その他 12人(16人)
 - ・就職セミナーの開催 76回(43回)、136人参加(69人)
 - ・WEBによる就職セミナーの開催 9回、11人参加
 - ・合同就職説明会への参加 28回(10回)、507人(225人)
 - ・学校訪問 32校(33校)
 - ・学内就職フェアへの参加 2校
- (2) 「人財」の定着に向けた働きやすい職場づくり
- ・新採用職員研修 研修受講者 80人
 - ・管理職研修(課長級マネジメント研修) 対象者 38人
3コース 各コース2回実施

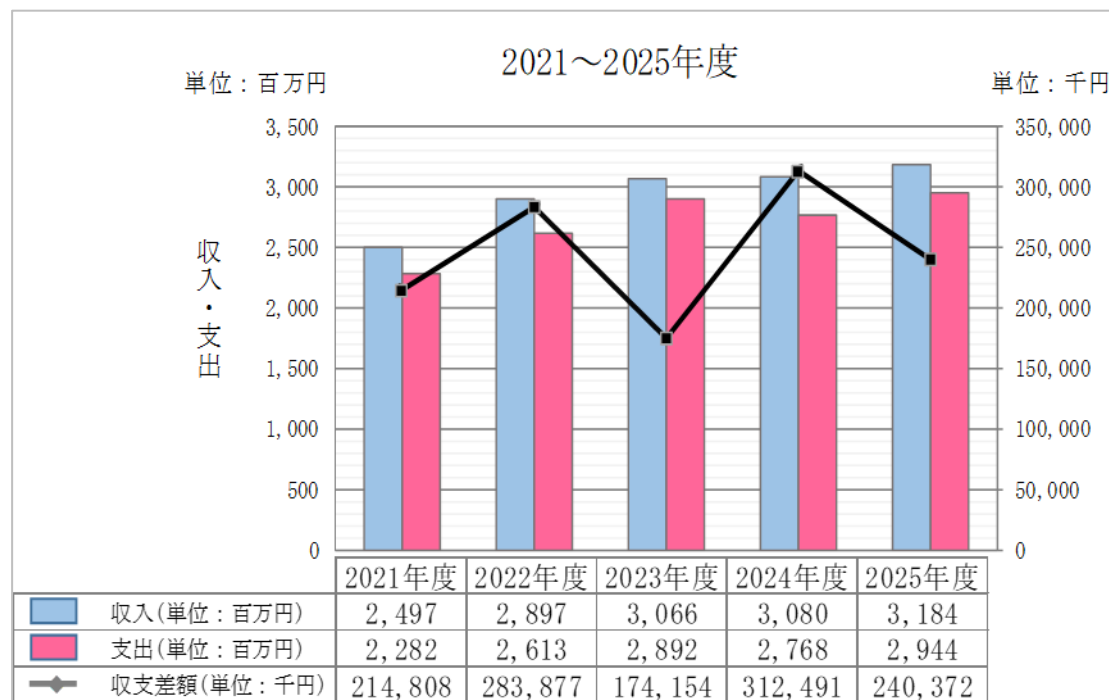
Ⅱ 横浜医療福祉センター港南運営事業

2025年度の全体目標に、安心・安全かつ先進的な重症心身障害医療・福祉サービスを提供するために、人材の確保・育成・定着の3項目を最優先で取り組み、看護基準を10:1基準から7:1基準に見直すことを掲げた。就職説明会への参加や新たな採用サイトの立上げなど、人材確保を積極的に行い、2025年度34名の看護師を採用できたことで、目標としていた7:1看護基準の取得が可能となり、看護師の人材確保については、目標を達成した。一方、生活支援員についても、積極的な採用活動を行ったが、2025年度10名の採用にとどまった。外国人雇用や外国人留学生の採用に関する情報を収集し、2026年度は外国人雇用を推進することで、人材確保につなげていく。

1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
長期入所	142.6 名/日	141.1 名/日	98.9%
短期入所	14.4 名/日	12.5 名/日	86.8%
外来診療	110.0 名/日	115.5 名/日	105.0%

2 資金収支差額の推移



入院診療収入の好調に加え、賃上げ及び物価上昇対応関連補助金の支給もあり収入は増加した。採用関連費用は増加したものの、人件費が抑えられたことにより、収支差額は240,372千円で予算を上回った。

3 センター全体の実績

(1) 長期・短期・入院利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期 (144床)	定数	4,320	4,464	4,320	4,464	4,464	4,320	4,464	4,320	4,464	4,464	4,032	4,464	52,560	52,560	100.0%
	実績数	4,249	4,372	4,234	4,309	4,369	4,207	4,380	4,252	4,387	4,387	3,974	4,374	51,494	51,470	100.0%
	1日平均	141.6	141.0	141.1	139.0	140.9	140.2	141.3	141.7	141.5	141.5	141.9	141.1	141.1	141.0	100.0%
	占床率	98.4%	97.9%	98.0%	96.5%	97.9%	97.4%	98.1%	98.4%	98.3%	98.3%	98.6%	98.0%	98.0%	97.9%	
短期 (入院含む 16床)	定数	480	496	480	496	496	480	496	480	496	496	448	496	5,840	5,840	100.0%
	実績数	386	408	396	403	399	361	386	374	390	370	323	373	4,569	4,461	102.4%
	1日平均	12.9	13.2	13.2	13.0	12.9	12.0	12.5	12.5	12.6	11.9	11.5	12.0	12.5	12.2	102.4%
	占床率	80.4%	82.3%	82.5%	81.3%	80.4%	75.2%	77.8%	77.9%	78.6%	74.6%	72.1%	75.2%	78.2%	76.4%	
総合計 (160床)	定数	4,800	4,960	4,800	4,960	4,960	4,800	4,960	4,800	4,960	4,960	4,480	4,960	58,400	58,400	100.0%
	実績数	4,635	4,780	4,630	4,712	4,768	4,568	4,766	4,626	4,777	4,757	4,297	4,747	56,063	55,931	100.2%
	1日平均	154.5	154.2	154.3	152.0	153.8	152.3	153.7	154.2	154.1	153.5	153.5	153.1	153.6	153.2	100.2%
	占床率	96.6%	96.4%	96.5%	95.0%	96.1%	95.2%	96.1%	96.4%	96.3%	95.9%	95.9%	95.7%	96.0%	95.8%	

(2) 外来利用状況

外来・診療状況（リハビリ、歯科含む。）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科・内科	783	656	717	807	739	712	832	747	837	755	684	835	9,104	8,972	101.5%
耳鼻科	33	42	42	46	44	46	49	44	57	51	47	76	577	552	104.5%
リハビリテーション課	957	986	957	1,065	922	977	991	856	953	940	866	1,049	11,519	11,442	100.7%
整形外科	32	30	27	30	33	30	24	29	30	30	25	33	353	350	100.9%
皮膚科	7	5	3	10	6	10	10	9	7	6	4	9	86	101	85.1%
精神科	62	64	59	85	83	85	84	54	70	74	68	86	874	768	113.8%
歯科	136	214	193	212	186	190	194	184	198	193	153	199	2,252	2,184	103.1%
短期外来	392	408	396	403	399	362	385	375	393	372	323	374	4,582	4,408	103.9%
外来者総数	2,402	2,405	2,394	2,658	2,412	2,412	2,569	2,298	2,545	2,421	2,170	2,661	29,347	28,777	102.0%
1日平均	109.2	114.5	108.8	115.6	114.9	114.9	111.7	120.9	121.2	121.1	114.2	121.0	115.5	113.0	102.2%

(3) 地域交流

ボランティア受け入れ

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動実数	18	22	22	33	28	16	27	28	22	26	25	26	293	179	163.7%
活動延べ回数	33	51	44	54	50	53	100	53	51	51	75	46	661	445	148.5%

【主な活動】

棟活動、日中活動、イベント、とちのき祭、裁縫、植栽など



とちのき祭



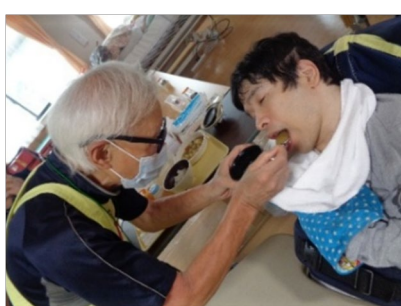
ボランティア交流会



クラシック・ヨコハマ



日中活動



棟活動



ボランティア表彰

(4) 公開講座

とちのき講座

公開日	テーマ	講師	参加人数
9月19日(木)	たべるをささえる ～摂食嚥下のメカニズムと介助のキホン～	横浜医療福祉センター港南 越ST・小林ST	20名

重心児者を介助する上で悩むことの多い「食事介助」に焦点を当て、当センターのSTが摂食嚥下の基本的なメカニズムと介助のコツについて体験も交えて講義を行い、大変好評であった。体験も交えての内容であったため先着20名としたが、定員を大きく上回るお申し込みをいただき、参加できなかった方も多くいたため、2026年度も開催予定。

4 各部署の報告

(1) 診療部門

2025年度は、2024年度と同じく内科系医師14名、児童精神科医1名、耳鼻科医1名の16名の常勤医師の体制で外来、長期・短期入所者の診療を行った。耳鼻科の常勤医師が長年港南に勤務された小河原医師から西村医師に変更になった。歯科は非常勤医師3名体制で長期入所者、外来利用者の診療を行った。

長期入所者では3名の新規入所者があった。144名の長期入所者のうち、人工呼吸器使用者は24名、胃ろう造設者は97名と毎年重症化が進んでいる。適切な医療の提供のため、診療課では毎日のカンファレンスで個々の症状について共有、検討を行った。また施設独自の抗菌薬適正使用マニュアルの作成、呼吸ケアサポートチーム（RST）による呼吸ケアの見直しを実施した。

短期入所利用者については、2024年度からは1E棟と2W棟の2棟に分けて入所を受けている。在宅で行われる医療ケアは日々変化してきており、さまざまな年齢、疾患、医療ケアの利用者が短期入所を利用した。診療部と居住棟、医療福祉相談室で密に連携をとって定期的に多職種カンファレンスを行い、利用者の状態把握を行った。横浜市内では重症心身障害児・者のレスパイトの受け入れ施設が不足しているため、安全面に配慮しながら今後も安定した短期入所が行えるよう努めていく。

外来診療では、皮膚科を除く全科での外来受診者の総数が前年度実績を上回った。幼児や学齢児の神経発達症へのリハビリ、痙性麻痺に対するボツリヌス外来へのニーズが高くなっており、またてんかんや神経疾患の成人移行の依頼も増加した。小児科、神経小児科、児童精神科の外来待機期間は約3か月、ボツリヌス外来の待機期間は1.3か月となっており、待機期間の短縮化に向け今後も努力していきたい。

(2) 診療支援部門

① リハビリテーション課

ア 療法実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来	理学療法	563	595	536	630	512	546	577	495	541	545	525	602	6,667	6,247	106.7%
	作業療法	328	307	307	342	317	339	312	263	307	327	262	371	3,782	3,847	98.3%
	言語聴覚療法	209	205	224	238	220	208	209	196	217	220	189	257	2,592	2,776	93.4%
	臨床心理	178	176	192	208	180	185	202	164	210	207	163	210	2,275	1,987	114.5%
入所	理学療法	332	324	384	446	333	357	452	394	417	324	325	379	4,467	3,703	120.6%
	作業療法	105	98	143	80	49	95	110	77	96	78	73	80	1,084	1,208	89.7%
	言語聴覚療法	65	75	100	91	68	72	98	95	75	38	90	86	953	687	138.7%
	臨床心理	21	17	10	23	13	22	13	9	18	7	12	10	175	316	55.4%
合計	理学療法	895	919	920	1,076	845	903	1,029	889	958	869	850	981	11,134	9,950	111.9%
	作業療法	433	405	450	422	366	434	422	340	403	405	335	451	4,866	5,055	96.3%
	言語聴覚療法	274	280	324	329	288	280	307	291	292	258	279	343	3,545	3,463	102.4%
	臨床心理	199	193	202	231	193	207	215	173	228	214	175	220	2,450	2,303	106.4%
	総合計	1,801	1,797	1,896	2,058	1,692	1,824	1,973	1,693	1,881	1,746	1,639	1,995	21,995	20,771	105.9%
	1日平均件数	85.8	89.9	90.3	93.5	84.6	91.2	85.8	80.6	89.6	83.1	86.3	95.0	88.0	81.2	108.4%

入院・入所

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
1E棟	処方箋枚数	161	187	153	152	94	192	170	165	178	171	157	190	1,970	2,642	74.6%
	処方件数	512	937	572	529	197	780	612	616	403	682	449	665	6,954	8,830	78.8%
	調剤数	645	1,233	711	667	243	1,031	799	812	508	894	598	895	9,036	11,481	78.7%
2E棟	処方箋枚数	194	249	206	180	123	194	200	170	210	204	153	265	2,348	3,255	72.1%
	処方件数	627	1,165	793	557	346	821	766	504	644	749	480	874	8,326	10,335	80.6%
	調剤数	782	1,436	996	687	443	1,072	1,005	653	845	966	681	1,212	10,778	13,166	81.9%
2W棟	処方箋枚数	165	161	203	165	80	161	189	155	143	185	123	183	1,913	2,403	79.6%
	処方件数	526	516	971	449	202	539	617	519	302	779	357	597	6,374	9,272	68.7%
	調剤数	665	660	1,258	575	275	724	834	731	372	1,074	492	825	8,485	11,809	71.9%
3E棟	処方箋枚数	272	167	262	250	219	236	264	227	280	255	200	303	2,935	3,336	88.0%
	処方件数	888	337	963	715	667	641	875	528	588	826	536	997	8,561	10,818	79.1%
	調剤数	1,145	431	1,280	942	878	901	1,238	693	782	1,138	759	1,414	11,601	14,208	81.7%
3W棟	処方箋枚数	227	210	182	163	190	192	228	171	223	201	165	279	2,431	2,688	90.4%
	処方件数	733	770	607	462	492	582	806	415	599	652	410	815	7,343	8,802	83.4%
	調剤数	930	980	812	597	651	756	1,047	541	760	833	560	1,125	9,592	11,237	85.4%

イ 注射院内処方

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
1E棟	処方箋枚数	25	32	56	11	27	26	44	23	32	1	29	19	325	626	51.9%
	処方件数	72	83	112	48	70	61	69	41	38	1	65	36	696	1,327	52.4%
	調剤数	119	129	153	71	115	97	94	56	42	1	96	50	1,023	1,803	56.7%
2E棟	処方箋枚数	32	41	25	80	35	21	84	23	46	17	0	32	436	528	82.6%
	処方件数	88	91	53	227	73	41	159	52	61	38	0	85	968	1,160	83.4%
	調剤数	131	127	82	340	101	63	196	63	61	53	0	122	1,339	1,624	82.5%
2W棟	処方箋枚数	94	24	12	71	13	5	49	23	33	21	74	24	443	644	68.8%
	処方件数	249	60	30	181	34	17	106	69	45	70	162	89	1,112	1,544	72.0%
	調剤数	381	97	48	281	49	22	144	104	58	102	205	133	1,624	2,221	73.1%
3E棟	処方箋枚数	213	89	93	97	78	65	193	101	114	94	77	85	1,299	1,284	101.2%
	処方件数	558	262	228	228	235	244	408	297	272	301	231	323	3,587	3,344	107.3%
	調剤数	748	301	256	245	313	292	497	366	309	424	282	410	4,443	4,399	101.0%
3W棟	処方箋枚数	38	30	26	55	61	62	71	25	51	37	18	61	535	773	69.2%
	処方件数	88	60	83	133	130	158	120	43	88	98	46	129	1,176	1,770	66.4%
	調剤数	139	76	132	202	186	244	156	61	127	149	74	190	1,736	2,584	67.2%

③ 検査課

ア 院内検査

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	8	4	7	3	9	6	8	2	5	6	3	4	65	89	73.0%
血算	48	56	55	47	53	37	58	37	37	34	30	39	531	543	97.8%
電解質	42	50	46	40	47	32	53	30	32	30	27	34	463	466	99.4%
血中薬物濃度	27	36	28	25	19	17	20	11	0	13	21	19	236	288	81.9%
血液ガス分析	5	5	8	5	8	6	7	6	7	4	3	7	71	86	82.6%
尿定性	16	16	25	18	13	14	22	10	13	10	11	12	180	225	80.0%
尿沈渣	14	13	17	13	10	12	18	8	11	9	9	11	145	185	78.4%
迅速検査	0	2	6	4	5	3	5	4	0	1	3	1	34	36	94.4%
新型コロナウイルス抗原	0	0	2	1	0	0	2	1	0	0	1	0	7	24	29.2%
新型コロナウイルス核酸	0	0	1	1	5	1	0	0	1	0	1	0	10	276	3.6%
インフルエンザウイルス核酸	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	
肝炎ウイルス検査	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	200.0%
心電図	5	3	5	6	2	4	5	1	2	2	1	4	40	35	114.3%
心電図+CVRR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
脳波	9	4	6	10	12	7	5	5	6	7	8	9	88	89	98.9%
聴力検査	0	0	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	10	5	200.0%
超音波検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計	174	189	208	180	184	140	204	116	116	117	120	140	1,888	2,351	80.3%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	91	64	48	89	68	81	98	46	51	58	48	69	811	941	86.2%
血算	96	68	51	94	74	89	105	51	59	62	53	72	874	1,006	86.9%
電解質	70	53	43	68	57	76	81	38	45	50	44	54	679	806	84.2%
血中薬物濃度	11	14	7	21	23	20	16	9	10	15	13	13	172	199	86.4%
血液ガス分析	60	31	34	47	46	51	52	29	41	48	28	44	511	656	77.9%
尿定性	30	13	21	30	33	27	31	25	29	22	17	18	296	363	81.5%
尿沈渣	24	12	20	26	27	23	27	18	26	18	11	15	247	298	82.9%
迅速検査	81	35	42	60	51	70	80	51	19	24	38	42	593	535	110.8%
新型コロナウイルス抗原	38	11	10	24	15	19	37	19	52	11	12	17	265	333	79.6%
新型コロナウイルス核酸	1	0	0	22	17	21	2	3	3	3	1	6	79	83	95.2%
インフルエンザウイルス核酸	0	0	0	0	0	0	1	0	3	2	2	0	8	0	
肝炎ウイルス検査	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5	0	
心電図	0	0	6	13	14	12	14	14	14	11	6	2	106	105	101.0%
心電図+CVRR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
脳波	1	3	2	1	0	2	4	3	3	1	1	2	23	19	121.1%
聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
超音波検査	2	9	4	3	4	7	6	3	2	5	3	2	50	50	100.0%
乳がん検診超音波検査	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	14	30	46.7%
合計	505	313	288	498	429	512	559	309	357	330	277	356	4,733	5,425	87.2%

イ 外注検査

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	1,009	1,134	1,042	914	1,008	801	1,157	683	805	578	577	806	10,514	10,840	97.0%
細菌培養	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	7	28.6%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新型コロナウイルスPCR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	1,009	1,134	1,042	914	1,008	801	1,157	684	805	578	578	806	10,516	10,847	96.9%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	898	905	784	1,265	1,112	1,402	1,649	734	1,071	781	781	699	12,081	14,061	85.9%
細菌培養	65	21	45	49	52	49	53	45	35	32	19	35	500	630	79.4%
病理・細胞診	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	4	75.0%
新型コロナウイルスPCR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85	
合計	964	927	829	1,314	1,164	1,451	1,703	779	1,106	813	800	734	12,584	14,780	85.1%

12月に「インフルエンザウイルス核酸検査」の院内検査を新規導入した。市中感染状況、検査対象者の身体症状等による検査選択肢を広げることにより、診断補助の一端を担うことができた。

④ 放射線課

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CT	1	0	0	3	3	2	0	2	0	0	1	0	12	13	92.3%
一般撮影	68	60	88	57	62	46	46	61	97	57	41	58	741	685	108.2%
ポータブル撮影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0.0%
透視検査	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	5	2	250.0%
超音波検査(BTX)	0	0	0	0	2	0	2	1	0	3	2	7	17	168	10.1%
画像ファイル	13	14	5	2	9	12	10	17	10	7	8	14	121	129	93.8%
歯科デンタル	2	5	2	6	2	8	1	5	5	2	3	3	44	44	100.0%
合計	84	79	96	68	79	68	60	86	113	69	56	82	940	1,048	89.7%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CT	3	2	21	4	27	27	12	21	7	16	12	18	170	149	114.1%
一般撮影	17	11	44	74	58	40	59	42	39	32	32	32	480	384	125.0%
ポータブル撮影	48	21	39	32	27	21	37	31	30	30	26	40	382	600	63.7%
透視検査	2	2	6	3	4	6	3	3	6	1	4	2	42	67	62.7%
超音波検査(BTX)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
画像ファイル	2	4	5	6	4	7	2	4	2	3	2	4	45	69	65.2%
歯科デンタル	4	5	1	5	5	0	1	1	1	0	4	3	30	17	176.5%
合計	76	45	116	124	125	101	114	102	85	82	80	99	1,149	1,289	89.1%

⑤ 栄養課

ア 入所食数実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
経口食		4,121	4,388	4,250	4,416	4,420	4,122	4,365	4,260	4,384	4,371	4,012	4,422	51,531	49,653	103.8%
胃瘻食朝		1,160	1,190	1,192	1,134	1,225	1,044	1,097	1,109	1,176	1,131	962	293	12,713	14,852	85.6%
胃瘻食昼		1,711	1,778	1,726	1,783	1,874	1,742	1,827	1,794	1,898	1,897	1,676	1,799	21,505	21,386	100.6%
胃瘻食夕		1,494	1,613	1,533	1,543	1,634	1,514	1,594	1,532	1,584	1,610	1,392	1,557	18,600	18,854	98.7%
経管栄養食		16,524	17,048	16,291	16,536	16,600	16,063	16,730	16,168	16,689	16,630	15,044	16,589	196,912	196,166	100.4%
嚥下外来食		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		25,010	26,017	24,992	25,412	25,753	24,485	25,613	24,863	25,731	25,639	23,086	24,660	301,261	300,911	100.1%

イ 栄養指導

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
肥満	加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	
	非加算	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	4	2	200.0%
低栄養	加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摂食嚥下障害	加算	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	
	非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	100.0%
合計	加算	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	3	1	300.0%
	非加算	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	5	3	166.7%

(3) 居住支援部門

① 長期入所利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新規入所受入れ	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	3	7	42.9%
1E棟	690	701	678	684	716	687	706	690	712	710	671	744	8,389	8,032	104.4%
2E棟	951	989	949	935	961	929	960	929	961	957	867	941	11,329	11,235	100.8%
2W棟	720	744	720	744	744	720	744	720	744	744	647	714	8,705	9,172	94.9%
3E棟	960	992	960	991	992	947	990	960	985	991	896	992	11,656	11,507	101.3%
3W棟	928	946	927	955	956	924	979	953	985	984	893	983	11,413	11,524	99.0%
小計	4,249	4,372	4,234	4,309	4,369	4,207	4,380	4,252	4,387	4,387	3,974	4,374	51,494	51,470	100.0%
1日平均(日/床)	141.6	141.0	141.1	139.0	140.9	140.2	141.3	141.7	141.5	141.5	137.0	141.1	140.7	140.6	100.0%

② 日中活動

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
実施回数	0	0	5	34	20	18	17	16	18	17	23	17	185	398	46.5%
参加延べ人数	0	0	19	122	75	69	74	63	77	65	92	63	719	1,747	41.2%

季節に合わせた内容の散歩や読み聞かせを行い、NPO 法人スノーズレンを普及する会（現ボランティア団体 スノーズレンを楽しむ会）の協力の下、室内をブラックライトで照らすクリスマス装飾の室内を設置して、今年度はクリスマスプログラムとしての活動を実施した。リハコラボでも、ポッチャ対戦、体感あそびなどを実施した。また、今年度も大型創作を実施し、港南区役所にて「こうなんひまわりアート展」に参加した。その他継続的に「利用者会議」を実施しながら、利用者の気持ちの聴き取りもおこなった。

【活動内容】

外気浴・散歩、スノーズレン、ミュージックケア、ボーリング、創作(貼り絵大型作品)、ポッチャ、読み聞かせ、Wii、リフレクソロジー、ファンタジールーム(クリスマスプログラム)、体感あそび、リハコラボ、正月あそび、書初め、音シアター、クイズゲーム、ボランティア演奏など
 ※夏休み企画(スノーズレン室の開放)、他部署実習生参加受け入れ、分教室実習生の参加活動あり



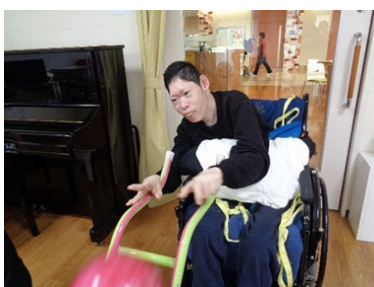
外気浴・散歩



リハコラボ



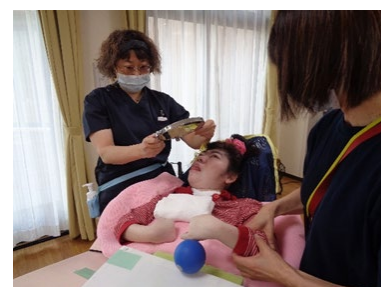
クリスマスプログラム



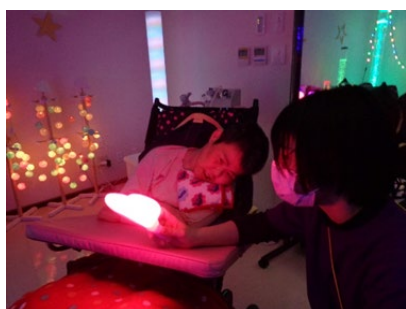
ボーリング



創作 (貼り絵)



ポッチャ



スノーズレン



ミュージックケア



読み聞かせ



正月あそび



ボランティア演奏等



書初め

(4) 在宅支援部門

① 短期・入院利用等実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
短期入所 (延数)	1E棟	188	204	195	196	193	188	160	161	165	146	121	146	2,063	2,289	90.1%
	2E棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2W棟	198	204	201	207	206	173	183	177	186	186	167	184	2,272	1,570	144.7%
	3E棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3W棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	386	408	396	403	399	361	343	338	351	332	288	330	4,335	3,859	112.3%
	1日平均(日/床)	12.9	13.2	13.2	13.0	12.9	12.0	11.1	11.3	11.3	10.7	10.3	10.6	11.9	10.6	112.3%
申し込み件数	82	89	92	78	92	81	87	93	91	65	75	84	1,009	870	116.0%	
利用不可※	39	48	47	33	50	36	43	56	49	25	39	40	505	263	192.0%	
入院 1E棟のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

※満床等の理由により入所対応ができなかった件数

② 医療福祉相談室

相談調整業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
受診相談	79	91	100	83	87	70	95	49	85	66	75	88	968	1,490	65.0%
関係機関調整	78	100	112	95	115	104	102	71	133	82	82	86	1,160	2,183	53.1%
一般相談 ※二次相談含む	225	199	234	235	184	271	263	189	308	255	193	239	2,795	3,416	81.8%
短期入所・相談調整	67	66	64	74	95	57	59	38	84	41	49	47	741	4,785	15.5%
計画相談支援・相談調整	17	15	17	25	40	50	37	40	35	39	39	25	379	1,267	29.9%
合計	466	471	527	512	521	552	556	387	645	483	438	485	6,043	13,141	46.0%

計画相談支援業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
立案数	4	2	3	5	7	10	2	4	2	3	3	5	50	51	98.0%
モニタリング数	7	18	11	8	7	9	10	17	12	10	14	14	137	111	123.4%
合計	11	20	14	13	14	19	12	21	14	13	17	19	187	162	115.4%

(5) 安全管理部門

インシデント・アクシデント件数

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
レベル	0	20	14	19	13	13	19	16	9	10	5	12	19	169	110	153.6%
	1	37	29	34	32	51	27	52	42	21	47	22	50	444	312	142.3%
	2	17	7	17	23	14	18	14	13	15	12	9	24	183	181	101.1%
	3-a	4	5	6	5	7	2	4	5	1	3	3	4	49	53	92.5%
	3-b	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	4	2	200.0%
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

死亡2件（港南で看取り1件）、骨折4件（左脛骨遠位端螺旋骨折、右大腿骨顆上骨折、左第5趾基節骨骨折、左腓骨遠位内側骨折）が発生した。ポスターなどで注意喚起し再発防止に努め10月以降発生していない。インシデント報告件数が増加し、特にレベル0・1の軽微な事象が増えた背景に報告する習慣ができたと考える。

(6) 管理部門

管理課

職員採用状況（非常勤職員は除く。）

		職種	医師	看護師	生活支援員	福祉相談員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	合計
上半期	採用者		0	4	1	0	0	0	0	5
	退職者		0	8	4	0	1	1	0	14
下半期	採用者		0	10	3	0	0	0	1	14
	退職者		2	9	10	1	1	0	0	23
合計	採用者		0	14	4	0	0	0	1	19
	退職者		2	17	14	1	2	1	0	37

Ⅲ 横浜療育医療センター運営事業

今年度に掲げた事業目標についてそれぞれ総括する。

(1) 長期入所者の健康管理と日中活動の充実

適切な健診項目の設定や乳がん検診の実施など疾患の早期発見に努め、医療代諾者不在の利用者に対しては外部有識者を含めた多職種による検討の場を設け、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を推進した。また利用者本人が希望する外部施設への外出を増やし、ボランティアの受け入れも充実させることができた。

(2) 人材確保と育成強化

様々な方策にも関わらず職員の採用が進まず、離職は続いて欠員は拡大し、当初の目標を達成できなかった。職員ウェルビーイング活動では休憩時間中のリラックス・スペースを設置したが、スタッフ不足のためそれ以外の活動は十分に行えなかった。

(3) 在宅支援事業の回復

職員不足が解消されず、短期入所は年度当初から休止し、7月に一旦再開するも1月から再度緊急入所のみとなるなど縮小体制が続いた。生活介護、訪問看護ステーションえーる、放課後等デイサービスはみんぐも目標値を下回った。ヘルパーステーションまいはーとでは欠員のため2年前から目標値を低く設定しているが、今年度は目標を上回る実績を上げることができた。

(4) 災害時事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）の策定

本年度は夜間想定訓練と発災後3日間の事業継続訓練を2回の大規模訓練を行い、細部の完成度を高めた。

(5) 対人業務以外の業務に対するAI（人工知能）技術の導入の検討

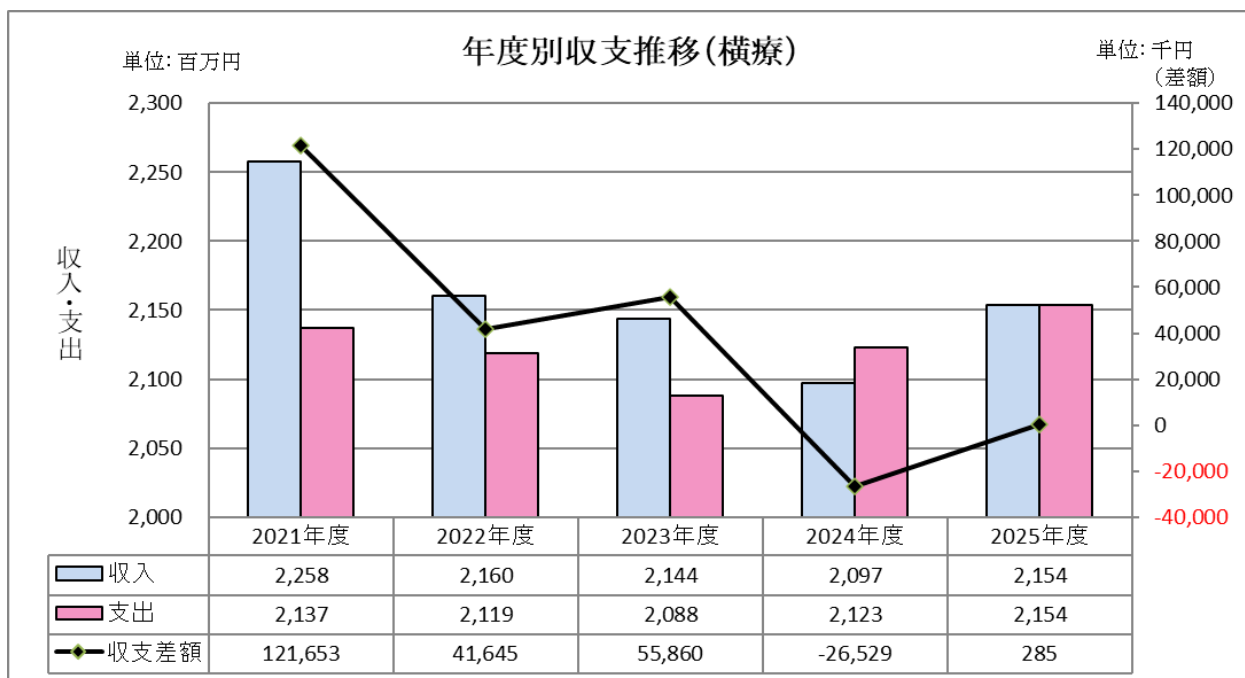
AIを用いた会議録の作成を多くの委員会において開始し、事務作業の効率化を図れた。2025年度も2024年度と同様、欠員が非常に多い中での業務遂行となり職員には大きな負担を強いたが、誠実に取り組んでくれたことに感謝している。引き続き採用活動を強化して安定的な運用を目指したい。

1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
長期入所	94.0 名/日	91.6 名/日	97.4%
短期入所	9.0 名/日	4.5 名/日	50.0%
外来診療 (短期入所外来を含む)	89.0 名/日	83.3 名/日	93.6%
	97.0 名/日	87.9 名/日	90.6%
生活介護（通所）	16.0 名/日	14.5 名/日	90.6%
訪問看護ステーションえーる	160 件/月	157 名/月	98.1%
放課後等デイサービスはみんぐ	4.5 名/日	4.3 名/日	95.6%
ヘルパーステーションまいはーと	285 件/月	296 件/月	103.9%
保育室ひかり	16.0 名/月	16.6 名/月	103.8%
病児保育室あさひ	2.1 名/日	2.4 名/日	114.3%

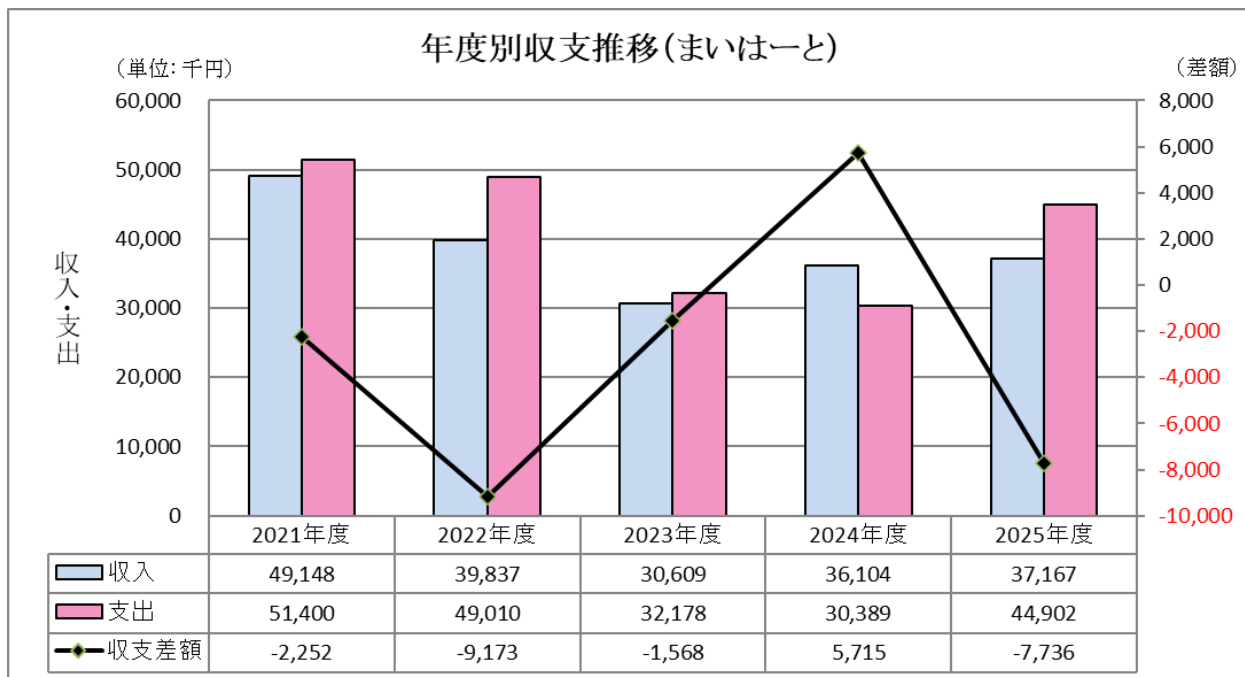
2 資金収支差額の推移

(1) 横浜療育医療センター



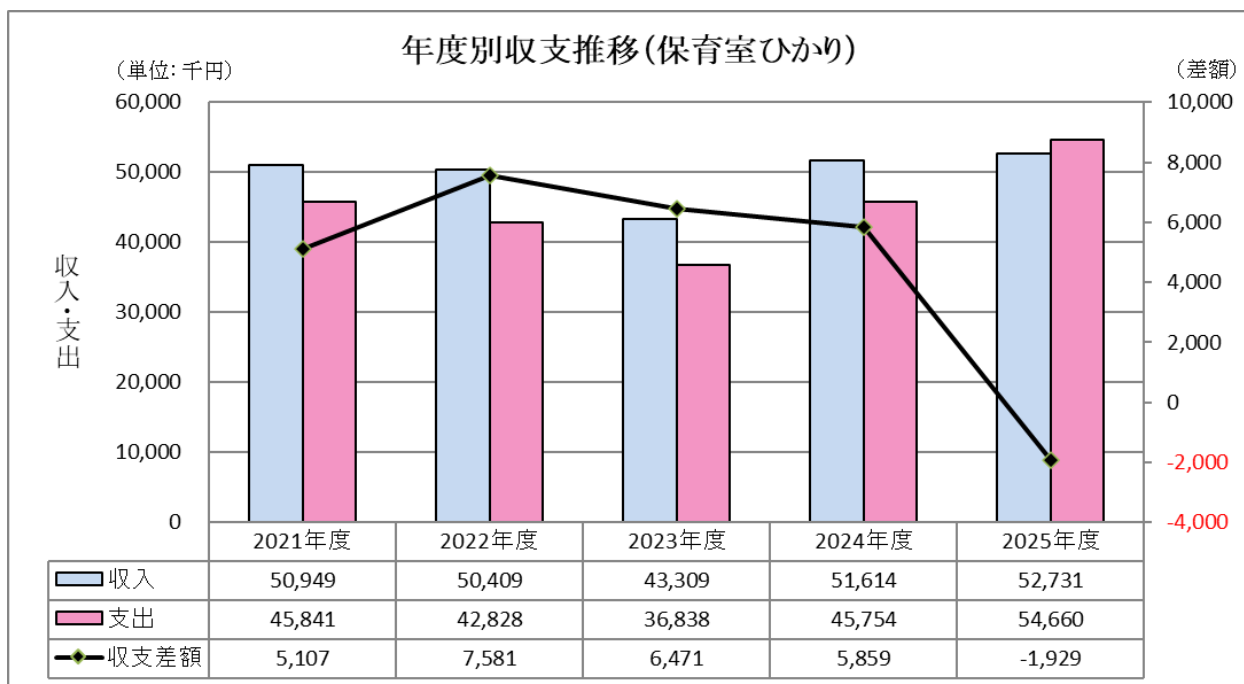
欠員が続く厳しい状況下においても、入所・在宅サービスを継続できたことに加え、賃上げや物価高騰に伴う補助金の支給もあり、収入は前年度比102%となった。

(2) ヘルパーステーションまいはーと



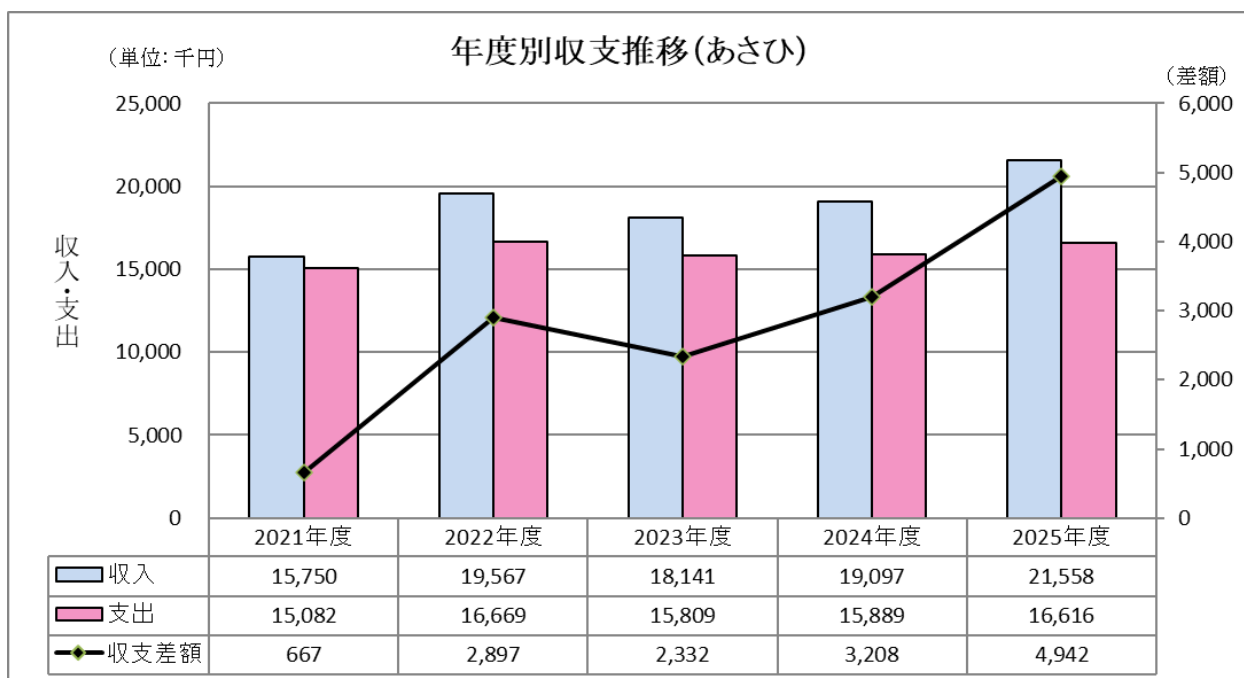
前年度比102%の増収となったものの、人件費支出が増加したため、今年度の収支はマイナスとなった。

(3) 保育室ひかり



目標値の16名を達成し、給付費等収入は予算と同程度としたが、2024年度中の責任者配置加算等の返戻額4,400,000円が大きく影響したことで、収支差額は直近5年で初めてマイナスとなった。

(4) 病児保育室あさひ



今年度新設された感染症人員配置加算により、収入が予算比117%となったこと、当初予算に組み込んでいた保育材料などの支出を見送ったことから、収支差額も予算比409%と予算を大きく上回る結果となった。

3 センター全体の実績

(1) 長期・短期入所利用状況

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期 95床	定数	2,850	2,945	2,850	2,945	2,945	2,850	2,945	2,850	2,945	2,945	2,660	2,945	34,675	34,675	100.0%
	実績数	2,765	2,844	2,757	2,843	2,845	2,757	2,838	2,758	2,840	2,840	2,549	2,817	33,453	33,185	100.8%
	1日の平均	92.2	91.7	91.9	91.7	91.8	91.9	91.5	91.9	91.6	91.6	91.0	90.9	91.6	90.9	100.8%
	占床率	97.0%	96.6%	96.7%	96.5%	96.6%	96.7%	96.4%	96.8%	96.4%	96.4%	95.8%	95.7%	96.5%	95.7%	100.8%
短期 9床	定数	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3,285	3,285	100.0%
	実績数	94	93	120	164	156	161	143	165	178	124	124	122	1,644	2,346	70.1%
	1日の平均	3.1	3.0	4.0	5.3	5.0	5.4	4.6	5.5	5.7	4.0	4.4	3.9	4.5	6.4	70.0%
	占床率	34.8%	33.3%	44.4%	58.8%	55.9%	59.6%	51.3%	61.1%	63.8%	44.4%	49.2%	43.7%	50.0%	71.3%	70.1%
入院 1床	定数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365	100.0%
	実績数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1日の平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	占床率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
合計 105床	定数	3,150	3,255	3,150	3,255	3,255	3,150	3,255	3,150	3,255	3,255	2,940	3,255	38,325	38,325	100.0%
	実績数	2,859	2,937	2,877	3,007	3,001	2,918	2,981	2,923	3,018	2,964	2,673	2,939	35,097	35,531	98.8%
	1日の平均	95.3	94.7	95.9	97.0	96.8	97.3	96.2	97.4	97.4	95.6	95.5	94.8	96.2	97.3	98.8%
	占床率	90.8%	90.2%	91.3%	92.4%	92.2%	92.6%	91.6%	92.8%	92.7%	91.1%	90.9%	90.3%	91.6%	92.7%	98.8%

(2) 外来利用状況

外来・診療状況（リハビリ、歯科含む。）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科・内科	593	577	634	645	602	604	616	551	644	593	542	645	7,246	7,517	96.4%
耳鼻科	39	31	35	34	38	25	45	29	35	35	29	49	424	327	129.7%
リハビリテーション課	744	763	794	810	712	787	807	670	789	715	651	809	9,051	9,031	100.2%
整形外科	23	25	24	26	19	29	28	23	32	23	23	24	299	305	98.0%
皮膚科	4	3	5	3	2	3	3	4	3	3	2	3	38	38	100.0%
精神科	33	35	37	37	35	41	34	29	35	30	32	42	420	386	108.8%
歯科	144	146	186	161	126	118	148	133	169	147	185	146	1,809	1,991	90.9%
短期外来	94	93	118	164	155	161	143	165	178	147	124	122	1,664	2,343	71.0%
放デイ外来	73	79	74	78	74	64	79	73	70	62	60	75	861	837	102.9%
外来者総数	1,747	1,752	1,907	1,958	1,763	1,832	1,903	1,677	1,955	1,755	1,648	1,915	21,812	22,775	95.8%
1日平均	81.8	86.0	89.1	86.8	85.4	88.9	84.6	89.5	94.6	89.4	88.9	89.3	87.9	90.7	96.9%
1日平均(短期除く)	78.7	83.0	85.2	81.5	80.4	83.6	80.0	84.0	88.9	84.6	84.7	85.4	83.3	84.3	98.9%

(3) 地域交流

ボランティア受け入れ

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動回数	38	33	39	50	52	52	40	35	30	28	31	26	454	434	104.6%
活動延べ回数	56	48	60	68	71	67	54	53	54	51	46	39	667	614	108.6%

【主な活動内容】・演奏（ピアノ、エレクトーン、大正琴他）・絵本などの読み聞かせ ・植栽管理
・施設外回り整備 ・理美容 ・裁縫 ・入浴後ドライヤー介助 ・盆踊り・リネン交換他

4 各部署の報告

(1) 診療部門

① 外来診療

短期入所を除く外来利用者数は引き続き安定して推移した。

児童精神科においては、前年度とほぼ同様の受診者数を維持しており、特に発達障害児者の受診ニーズは高く、近隣療育センターからの紹介ケースは一定の頻度で利用されている。学校や通所施設との関係性維持には外来、リハビリ部門、相談室が連携して中核的な役割を担っている。

内科・小児科については、引き続き近隣施設からのリハビリ移行ケースが多く、リハビリテーションオーダーを含めた外来診療の需要が高い状況である。一方で医療的ケアが多い重症者に関しては、当院での救急受診や入院対応が困難なケースも多く、在宅往診医や訪問看護ステーションと連携し、急性期病院への紹介を試みている。

また、主治医としての外来機能（いわゆる「かかりつけ医機能」）の重要性が高まる中、医学管理料の変更等の制度的変化にも対応が求められており、診療体制の柔軟な適応力が一層重要となっている。

② 入所・入院・通所

長期入所においては、2025年3月B棟からC棟に拡大するパラインフルエンザウイルス感染症や、2026年2月～3月にA棟でのウイルス性気道感染症の流行により、複数の利用者が重症化し、気道管理を要した。高齢化に伴い軽微な感染症でも急速に重症化する傾向が強まり、今後流行時の対応に更なる注意を要する。

2025年度は3名の利用者が逝去され、そのうち1名は大腸がんを原因としている。発症年齢は50歳前後で、現在も担癌状態にある利用者が複数おり、がん患者への継続的な対応が常態化している。これに伴い造影CTによる評価機会や中心静脈ルート確保などの医療処置が増加しており、実際の処置や診療方針の決定には非常勤外科医の存在は益々不可欠なものとなっている。

また、診療方針の決定過程において、家族不在や第三者後見人による意思決定支援が必要なケースも増加している。こうした状況から、ACPの視点に基づく対応を具体化し、外部講師を依頼し症例カンファレンスを実施し、臨床倫理委員会の設置とフローの作成を進め、体制構築を行った。

短期入所については、職員の欠員が継続したことにより、安全なサービス提供体制の維持が困難となり、段階的に受入数を縮小した。その後も状況改善が見込めず、2025年4月

以降短期入所事業を一時中止せざるを得なかった。利用者家族からの再開の要望は強く、2026年度においては全部署が連携し、持続可能な運営体制の再構築と早期再開に向けた取組を横療の使命として、最優先課題として進める。

通所事業においては、重症者の欠席による利用者数の減少は継続した。また利用者の半数近くが気管切開の方となり、医療的ケアの重度化がこの数年で顕著に進行しており、現状の制度内では事業継続も危惧される状況となっている。2025年度も制度的支援の必要性について関係機関への要望を行ったが、見通しは立っておらず、送迎事業を含めたサービス全体の継続が危機的状況にある。

(2) 診療支援部門

① リハビリテーション課

ア 療法実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来	理学療法	583	603	619	621	567	605	633	561	631	552	549	607	7,131	6,790	105.0%
	作業療法	251	266	261	272	217	256	264	262	280	257	247	292	3,125	3,277	95.4%
	言語聴覚療法	159	184	178	209	189	199	201	183	218	197	171	213	2,301	2,848	80.8%
	臨床心理	95	97	87	103	77	87	100	93	88	61	47	72	1,007	1,223	82.3%
	音楽療法	9	8	7	5	8	8	6	7	7	9	8	8	90	87	103.4%
入所	理学療法	181	182	192	202	114	152	294	211	179	171	191	168	2,237	1,934	115.7%
	作業療法	83	82	69	59	37	63	72	52	50	48	53	52	720	763	94.4%
	言語聴覚療法	53	57	60	65	46	64	71	64	75	65	77	77	774	670	115.5%
	臨床心理	11	11	13	11	1	10	4	7	4	0	1	1	74	258	28.7%
	音楽療法	15	15	16	15	16	16	16	17	15	15	17	15	188	124	151.6%
合計	理学療法	764	785	811	823	681	757	927	772	810	723	740	775	9,368	8,724	107.4%
	作業療法	334	348	330	331	254	319	336	314	330	305	300	344	3,845	4,040	95.2%
	言語聴覚療法	212	241	238	274	235	263	272	247	293	262	248	290	3,075	3,518	87.4%
	臨床心理	106	108	100	114	78	97	104	100	92	61	48	73	1,081	1,481	73.0%
	音楽療法	24	23	23	20	24	24	22	24	22	24	25	23	278	211	131.8%
	総合計	1,440	1,505	1,502	1,562	1,272	1,460	1,661	1,457	1,547	1,375	1,361	1,505	17,647	17,974	98.2%
	1日平均件数	68.6	75.3	71.5	71.0	63.6	73.0	83.1	72.9	77.4	68.8	68.1	75.3	72.4	74.2	97.6%

イ 外来新規患者数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
理学療法	9	6	4	1	7	3	2	2	2	2	9	9	56	67	83.6%
作業療法	5	6	4	6	4	7	5	3	4	2	6	5	57	66	86.4%
言語聴覚療法	4	12	7	5	2	4	4	3	8	2	6	2	59	62	95.2%
臨床心理	12	5	16	7	7	9	9	3	10	2	5	9	94	109	86.2%
音楽療法	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	20.0%
合計	30	30	31	19	20	23	20	11	24	8	26	25	267	309	86.4%

2025年度の人員配置について、STに1名入職したほか、PT・OTについては安定していたがST・心理はそれぞれ欠員1名のまま業務を行うことになった。

PTは3月からは2名不在（退職者1名と産休1名）となったが、引継ぎを順調に行うことで外来・入所ともに前年度の実績を上回ることができた。OTは他業務の事情で出張が多くなったことと、終了等で外来患者が微減していることがあったが、入所の実績が増やせたため全体と

しての実績を維持することができた。STは前年度に続き産休1名いたことで、産休代替2名で4日分の補充があったが効率よくケースが入れられず、外来実績は前年度を大きく下回った。新入職員を入所中心に育成継続したこともあり、入所の実績は前年度を大きく上回った。心理は欠員1名、年末からの産育休者1名がいたことと、また入所の入り方を見直したため入所実績は大きく下回ったが、外来件数は維持することができた。

OT・ST・心理の新患数については、人員配置の影響により実績数が伸び悩んでいると考えられる。2026年度以降も引き続き新患数を増やせるよう対応を考えていく必要がある。

② 薬剤課

ア 調剤院内処方

外来

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科	処方箋枚数	1	7	5	4	4	1	2	2	6	8	3	10	53	77	68.8%
	処方件数	2	7	5	4	4	3	2	4	7	9	4	11	62	133	46.6%
	調剤数	2	7	7	4	4	3	2	4	7	9	4	11	64	154	41.6%
耳鼻咽喉科	処方箋枚数	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	4	8	50.0%
	処方件数	1	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	5	9	55.6%
	調剤数	1	0	3	1	0	0	0	0	2	0	0	0	7	13	53.8%
歯科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
救急外来	処方箋枚数	4	2	2	1	3	1	0	7	5	5	7	1	38	33	115.2%
	処方件数	9	3	6	2	9	1	0	13	9	8	10	2	72	67	107.5%
	調剤数	12	4	8	2	11	1	0	14	10	9	10	2	83	81	102.5%
整形外科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
皮膚科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
通所	処方箋枚数	3	5	3	4	7	5	10	8	4	4	2	4	59	43	137.2%
	処方件数	3	5	3	4	8	5	10	8	6	4	2	4	62	52	119.2%
	調剤数	3	5	3	4	8	5	10	8	6	4	2	4	62	59	105.1%

入院・入所

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
A棟	処方箋枚数	319	233	166	446	299	194	323	233	299	344	289	469	3,614	3,461	104.4%
	処方件数	1,452	1,043	535	2,516	1,556	766	1,483	1,023	1,052	1,386	1,330	1,546	15,688	15,070	104.1%
	調剤数	1,984	1,405	692	3,417	2,105	1,026	1,981	1,374	1,366	1,830	1,702	1,914	20,796	20,370	102.1%
B棟	処方箋枚数	256	116	356	313	199	237	307	206	292	257	227	264	3,030	3,115	97.3%
	処方件数	860	219	1,850	1,478	873	919	1,268	605	1,076	962	807	1,065	11,982	12,419	96.5%
	調剤数	1,140	291	2,512	1,917	1,178	1,224	1,765	775	1,416	1,284	1,077	1,430	16,009	16,619	96.3%
C棟	処方箋枚数	355	395	396	546	363	369	454	373	409	366	338	443	4,807	4,674	102.8%
	処方件数	1,543	1,813	1,831	2,625	1,779	1,497	1,952	1,514	1,792	1,860	1,576	1,896	21,678	21,862	99.2%
	調剤数	2,007	2,286	2,406	3,330	2,176	1,722	2,344	1,900	2,066	2,339	2,011	2,376	26,963	27,977	96.4%

イ 注射院内処方

外来

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来	処方箋枚数	6	8	14	6	14	11	218	242	48	20	10	18	615	714	86.1%
	処方件数	6	8	14	6	14	11	218	242	48	20	10	19	616	714	86.3%
	調剤数	7	9	14	6	16	14	218	242	48	27	15	20	636	739	86.1%

入所・入院

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
A棟	処方箋枚数	37	147	56	277	188	154	276	142	266	351	202	566	2,662	1,015	262.3%
	処方件数	45	197	82	657	393	228	394	219	384	622	390	1,237	4,848	1,606	301.9%
	調剤数	63	269	127	962	586	276	483	294	531	882	598	1,861	6,932	2,132	325.1%
B棟	処方箋枚数	96	54	106	29	44	30	60	102	227	96	89	138	1,071	883	121.3%
	処方件数	187	82	241	64	78	57	120	174	316	134	164	268	1,885	1,542	122.2%
	調剤数	251	112	350	98	138	87	172	253	460	179	241	421	2,762	2,095	131.8%
C棟	処方箋枚数	143	405	318	209	146	47	55	462	139	83	126	173	2,306	1,901	121.3%
	処方件数	248	998	696	593	290	101	81	862	300	148	196	360	4,873	3,369	144.6%
	調剤数	319	1,447	1,011	933	453	136	97	1,313	478	213	346	483	7,229	4,266	169.5%

2025年度も引き続き医薬品の供給不安が継続し、医薬品確保のため在庫数は前年度同様多めとなった。2025年5～6月感染症（パラインフルエンザ）の流行、2026年2～3月感染症（ウイルス不明）の流行により、前年度と比較して入院注射処方箋枚数・件数・調剤数ともに大きく増加した。また、癌罹患利用者数の増加により、疼痛管理のため麻薬使用が増加した。

③ 検査課

ア 院内検査

外来・短期入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	7	38	46	29	17	20	26	14	15	17	13	22	264	328	80.5%
血算	10	48	49	60	37	33	38	22	19	21	56	35	428	516	82.9%
血液像鏡検	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1	200.0%
電解質	7	33	41	25	19	21	32	16	12	15	12	16	249	334	74.6%
迅速血糖 (課内のみ)	0	1	2	2	2	0	2	1	0	1	0	0	11	18	61.1%
血中薬物濃度															
血液ガス分析	1	16	15	11	5	6	7	2	4	2	3	4	76	104	73.1%
血液型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
交差適合試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
尿定性	6	27	28	43	19	17	13	10	10	13	46	6	238	212	112.3%
尿沈渣	5	23	26	17	7	13	12	6	4	9	5	2	129	163	79.1%
迅速検査	15	16	9	11	16	28	9	19	20	16	9	17	185	268	69.0%
遺伝子検査	3	3	8	16	13	18	12	10	13	7	7	9	119	293	40.6%
肝炎ウイルス検査	3	6	0	8	0	0	2	0	0	0	4	0	23	12	191.7%
心電図	2	16	18	33	12	11	3	3	3	3	2	1	107	94	113.8%
脳波	3	3	2	4	4	1	5	0	4	4	1	2	33	43	76.7%
超音波検査 (乳房)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	100.0%
合計	62	230	244	259	151	168	163	103	104	108	158	115	1,865	2,387	78.1%

入院・長期入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	65	127	97	103	96	83	74	115	104	67	48	139	1,118	965	115.9%
血算	65	121	100	103	96	112	74	118	105	68	48	140	1,150	964	119.3%
血液像鏡検	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
電解質	49	71	63	63	57	53	50	65	66	53	34	98	722	663	108.9%
迅速血糖 (課内のみ)	1	3	3	2	2	5	5	3	2	5	0	6	37	29	127.6%
血中薬物濃度															
血液ガス分析	15	36	27	24	24	20	23	28	23	13	3	43	279	244	114.3%
血液型	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	200.0%
交差適合試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
尿定性	7	6	17	21	14	24	21	27	16	10	6	11	180	252	71.4%
尿沈渣	7	6	16	21	14	24	19	27	13	7	6	10	170	217	78.3%
迅速検査	42	19	24	19	20	18	17	41	36	17	15	71	339	372	91.1%
遺伝子検査	13	10	10	9	13	11	10	23	15	16	8	25	163	246	66.3%
肝炎ウイルス検査	3	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	9	12	75.0%
心電図	0	0	9	16	8	20	20	18	2	1	0	0	94	96	97.9%
脳波	0	0	0	2	0	6	2	6	1	1	0	1	19	19	100.0%
超音波検査 (乳房)	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	1	300.0%
合計	268	400	366	383	344	377	317	471	384	260	168	547	4,285	4,087	104.8%

イ 外注検査

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	17	98	99	97	68	67	72	48	28	33	68	48	743	873	85.1%
細菌培養	17	39	60	30	18	21	24	17	18	18	19	19	300	373	80.4%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	34	137	159	127	86	88	96	65	46	51	87	67	1,043	1,246	83.7%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	55	65	115	118	119	126	113	119	101	62	44	123	1,160	1,253	92.6%
細菌培養	29	26	43	60	46	55	39	58	33	18	30	43	480	469	102.3%
病理・細胞診	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	4	9	44.4%
合計	84	91	158	178	167	182	152	178	134	80	74	166	1,644	1,731	95.0%

短期入所受け入れ件数減少により新型コロナ遺伝子検査が減少した。長期については、5月、11月、3月に発生した感染症により血液検査件数が増加した。

④ 放射線課

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
C T	3	7	16	10	5	2	4	3	2	0	2	4	58	106	54.7%
一般撮影	37	90	86	105	67	55	50	53	60	53	28	26	710	757	93.8%
ポータブル撮影	2	3	4	1	1	0	2	1	4	2	5	4	29	56	51.8%
透視検査(内視鏡含む)	9	5	8	8	7	9	11	6	10	8	7	9	97	103	94.2%
超音波検査	0	0	0	2	0	0	1	0	2	2	0	0	7	14	50.0%
画像ファイル	3	10	8	11	7	6	5	4	3	9	0	5	71	90	78.9%
歯科デンタル	4	5	6	11	9	1	4	8	9	7	4	3	71	103	68.9%
合計	58	120	128	148	96	73	77	75	90	81	46	51	1,043	1,229	84.9%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
C T	26	20	27	26	27	30	41	30	27	5	9	7	275	300	91.7%
一般撮影	14	23	20	13	17	12	21	18	8	4	17	20	187	114	164.0%
ポータブル撮影	66	137	87	79	86	80	84	92	127	53	37	139	1,067	1,066	100.1%
透視検査(内視鏡含む)	54	49	48	51	49	61	51	45	60	46	45	60	619	549	112.8%
超音波検査	2	6	3	4	9	7	6	12	8	4	5	7	73	125	58.4%
画像ファイル	2	3	3	3	2	3	5	0	3	2	0	0	26	39	66.7%
歯科デンタル	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3	10	30.0%
合計	165	238	188	177	190	193	208	198	233	114	113	233	2,250	2,203	102.1%

外来のCT、一般撮影が通所の健康診断の方法変更に伴って、大幅に減少した。

⑤ 栄養課

ア 入所食数実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
経口食	2,495	2,519	2,584	2,641	2,679	2,494	2,422	2,310	2,433	2,366	2,166	2,370	29,479	33,230	88.7%
胃瘻食昼	749	759	735	538	689	684	760	717	720	665	609	573	8,198	8,404	97.5%
胃瘻食夕	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3,653	0.1%
経管栄養食	9,739	9,789	9,652	10,411	10,271	10,323	10,649	10,565	10,872	10,773	9,732	10,306	123,082	125,298	98.2%
泊なし短期	0	0	2	0	0	0	4	1	0	0	0	0	7	6	116.7%
嚥下外来食	1	1	0	0	1	1	1	1	1	3	1	1	12	3	400.0%

イ 特別治療食数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
加算食	120	124	146	124	124	120	124	120	124	124	112	124	1,486	3,279	45.3%

ウ 栄養指導実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来加算	2	0	0	0	1	1	1	1	0	1	3	0	10	17	58.8%
外来非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院時加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院時非加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

エ 栄養サポートチーム (NST)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新介入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
介入中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
回診数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
介入終了	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

オ 通所食数の実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
経口食	53	41	59	60	53	51	50	48	51	44	47	59	616	580	106.2%
胃瘻食	141	123	145	145	123	132	137	125	137	128	112	152	1,600	1,847	86.6%
合計	194	164	204	205	176	183	187	173	188	172	159	211	2,216	2,427	91.3%

カ 放課後等デイサービス食数実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
昼食(経口食)	32	0	6	46	105	0	3	7	9	13	4	50	275	193	142.5%
昼食(胃瘻食)	3	0	0	7	16	0	0	0	4	0	0	6	36	40	90.0%
間食	81	84	84	89	80	82	89	79	80	71	67	87	973	921	105.6%

給食数(経口食+胃ろう食)は、入所・通所ともに前年より下回る。胃ろう食の夕食提供の中止、短期利用の縮小、終末期利用者や感染症対応による絶食対応が要因と考えられる。2024年から通所への経管栄養剤の提供を開始している。放課後等デイサービスの給食数(経口食+胃ろう食)は、前年よりも増加が見られ、利用稼働率の高さがうかがえる。

(3) 居住支援部門

① 長期入所利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
A棟 (29名)	840	858	840	865	867	840	860	840	868	868	784	868	10,198	10,187	100.1%
B棟 (30名)	900	923	899	928	925	900	928	899	923	921	815	897	10,858	10,474	103.7%
C棟 (36名)	1,025	1,063	1,018	1,050	1,053	1,017	1,050	1,019	1,049	1,051	950	1,052	12,397	12,554	98.7%
合計 (95名)	2,765	2,844	2,757	2,843	2,845	2,757	2,838	2,758	2,840	2,840	2,549	2,817	33,453	33,215	100.7%
占床率 (%)	97.0%	96.6%	96.7%	96.5%	96.6%	96.7%	96.4%	96.8%	96.4%	96.4%	95.8%	95.7%	96.5%	95.7%	100.8%

2025年度は長期利用者が3名逝去された。空床となった長期枠については、2026年度4月より職員の欠員状況の悪化による短期入所休止の緊急対応として、空床の3床と2025年度末に空床となった2床の合計5床を緊急用の短期枠とした。その結果、長期枠91床、短期枠5床の合計96床の運用となった。また、短期入所再開に向けた検討会を開催し、再開に向けては短期入所受け入れ棟をB棟とC棟の複数棟の運用に変更するため、今年度末に長期利用者の棟間移動を実施した。利用者への生活については、今年度初頭より看護師と生活支援員の専門性を強化したことで、より安心安全な体制を確立し、外出活動や行事を積極的に行うことができ、生活の質の向上につながった。

② 日中活動

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
実施回数(回)	41	52	47	50	50	47	47	47	45	47	47	48	568	540	105.2%
参加人数(人)	117	189	188	202	198	177	185	184	178	181	178	176	2,153	2,240	96.1%

【活動内容】 くるみボタン、創作、散歩、ボウリング、ボッチャ、スノーズレン、Wii、シアター、音遊び、園芸、たっち交流



グループ異文化交流 (草津の湯体験)



グループ夏祭り

(4) 在宅支援部門

① 短期入所利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
A棟(1名)	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	58	56	726	494	147.0%
B棟(0名)	0	0	0	8	0	17	5	5	12	0	9	23	79	168	47.0%
C棟(8名)	34	31	60	94	94	84	76	100	104	62	57	43	839	1,684	49.8%
合計(9名)	94	93	120	164	156	161	143	165	178	124	124	122	1,644	2,346	70.1%
占床率(%)	34.8%	33.3%	44.4%	58.8%	55.9%	59.6%	51.3%	61.1%	63.8%	44.4%	49.2%	43.7%	50.0%	71.3%	70.1%
申し込み件数	7	3	11	49	51	34	40	38	40	31	38	9	351	617	56.9%
利用不可件数	0	0	6	34	36	16	27	27	27	26	30	1	230	292	78.8%

2025年度末からの看護師の人員不足により看護師配置基準10:1の継続が困難となり、2026年度4月～6月まで短期入所の受け入れをやむなく休止することとなった。また柔軟に対応していくためには、複数棟で受入れる必要があるため、B,C棟で短期入所を受入れることに決定した。一方で人員確保については、年度途中の採用が看護師・生活支援員双方でほとんどなく、夜勤人員確保には至らず。退職者もいたため、2025年11月以降は再度緊急依頼のみの受け入れとなった。長期入所で逝去されが方の空きベッドの有効活用、ミドル入所によりベッド占床率を少しでも上げる取り組みはしたものの、占床率は低く経営への影響も大きい一年となった。

② 入院利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
C棟(1名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
占床率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.0%	0.0%	

入院の利用なし。

③ 生活介護(通所)

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
在籍者数	33	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	407	432	94.2%
通所日数	21	20	21	22	20	21	21	18	20	19	18	21	242	243	99.6%
通所者数	325	274	309	336	284	293	266	266	286	279	245	303	3,466	3,496	99.1%
電話支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
欠席者数	32	58	40	35	49	57	52	35	47	38	58	48	549	750	73.2%
1日平均	15.5	13.7	14.7	15.3	14.2	14.0	14.1	14.8	14.3	14.7	13.6	14.4	14.5	14.4	100.8%

2025年度は、4月および5月に新規利用者2名を受け入れ、在籍者数は34名となった。

利用者の特性上、日々の体調変化により欠席されるケースがあり、単日での復帰に限らず、体調を優先し数日間の休養を経て再開される傾向が見られた。また、入院に伴う長期欠席者は年間を通して12名にのぼり、1回の入院期間は2週間から3か月程度となるなど、通所再開までに一定の期間を要する状況であった。1日平均通所者数は14.5名と、前年度とほぼ同等だったが、通所者におけ

る欠席率は前年度の21%から15%へと低下しており、出席率自体は改善傾向が見られている。また、高等部3年生の進路実習においては、医療的ケアの必要度が高い方の希望が多い傾向に大きな変化は見られなかった。こうした現状を踏まえ、横浜市会および衆議院議員に対し、医療的ケアの必要度が高い利用者を受け入れる生活介護事業所の現状と課題について、陳情書を提出し、必要な支援体制の整備について要望を行った。

活動面では、外出機会の拡充を図るとともに、利用者主体の音楽活動に新たに取り組んだ。また、外部ワークショップへの石けん出品を通じた地域交流、園芸活動の拡大、クリスマス当日のお楽しみ会の実施など、多様な活動機会の提供に努めた。



ボランティアコンサート



地域交流 二俣川教会

④ 訪問看護ステーションえーる

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
訪問総数(件)	154	150	163	164	148	148	186	144	160	161	139	173	1,890	2,018	93.7%
1日平均	7.3	7.5	7.8	7.5	7.4	7.4	8.4	8.0	8.0	8.4	7.7	8.2	7.8	8.3	94.0%
リハ同行数	7	7	7	7	7	6	7	7	8	7	6	6	82	91	90.1%

職員の欠員も影響し、目標はやや下回った結果となった。保険外訪問件数は12件/年、横浜市医療局から、人工呼吸器使用者に対する個別支援計画立案についての業務委託契約6件（えーる利用者）、さらに横浜市子ども青年局から在宅レスパイト業務委託契約の依頼を受け、18名の新規登録。実働として、4名の利用者で5件の利用に繋げることができた。

関係機関との連携強化を図り、継続的な情報共有と信頼関係の構築に努めたことで、事業拡大の観点においても一定の成果を上げたと評価する。

⑤ 居宅介護課（まいはと）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
訪問総数	493	475	491	473	454	468	492	373	449	418	332	376	5,294	5,416	97.7%
1日平均	23.5	23.8	23.4	21.5	22.7	23.4	22.3	20.7	22.5	22.0	18.4	17.9	21.8	22.2	98.4%

11月以降職員の退職や利用者のご逝去、入院等（長期休み）が続き、前年度に比べ利用数が減少した。また、2月以降は常勤職員の退職に伴い、数名の利用者の事業所移行を行っており、さらなる減少につながっている。利用数増加のためにはまずは職員の確保が必要であり、当面は現状の件数維持に務めていく。

⑥ 放課後等デイサービスはみんぐ

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所児総数	87	91	90	97	86	75	95	88	84	76	72	95	1,036	979	105.8%
1日平均	4.1	4.6	4.3	4.4	4.3	3.8	4.3	4.9	4.2	4.0	4.0	4.5	4.3	4.2	101.3%

2025年度は利用者の長期休みなどがあり、利用数が減少したが、安定した運営ができた。

⑦ 送迎事業

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
登校(累計)	16	20	20	13	3	17	21	17	17	16	18	17	195	195	100%
下校(累計)	9	12	16	8	2	12	12	14	13	13	8	11	130	150	87%
登校日数	17	20	20	13	3	18	22	18	19	16	18	17	201	204	99%

⑧ 医療福祉相談室

相談業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話・メール	279	321	356	331	247	307	315	266	406	348	394	317	3,887	4,315	90.1%
来所	161	129	121	132	188	159	145	153	153	150	174	217	1,882	1,896	99.3%
訪問等	97	71	69	72	90	62	104	75	98	93	115	111	1,057	1,152	91.8%
合計	537	521	546	535	525	528	564	494	657	591	683	645	6,826	7,363	92.7%

2024年度は相談件数が増加したが、2025年度は平均に戻る。年間を通して平均570件/月の相談に対応している。継続した支援が必要な外来利用者は130ケースであり、その内訳は年齢や障害など多岐にわたっているが、継続して知的障害・発達障害が多い。センター内の他職種連携や地域の関係機関との連携は電話に限らず、他機関から来所されたり、ソーシャルワーカーが訪問して関係機関会議に参加している。連携先や連携の方法は、利用者の困りごとや環境によって変わるため、発達障害の知識・理解を深めたり地域情報を収集しながらアセスメントを繰り返すことが必要である。継続支援が必要な利用者は担当制をとりながらも、相談室内でのグループスーパービジョンやケース相談の機能を使い本人・家族支援に努めている。

短期入所調整業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
申込件数	7	3	11	49	51	34	40	38	40	31	38	9	351	617	56.9%
利用件数	7	3	5	13	12	17	10	10	13	5	8	6	109	452	24.1%
利用不可※1	0	0	6	34	36	16	27	27	27	26	30	1	230	292	78.8%
キャンセル※2	0	0	0	2	3	1	3	1	0	0	0	2	12	25	48.0%

※1 満床等の理由により入所対応ができなかった件数

※2 利用者からのキャンセル数

2025年度の数値目標に対し50%の達成となった。その背景は、ここ数年職員不足が続き段階的に稼働ベッド数を減らして運用してきたが、2026年度は4~6月まで短期入所の受け入れを見合わせるようになった。短期入所運営検討会議では今後再開に向けた課題整理、短期入所各業務の見直し、協力体制の検討などを継続して話し合い、7月から受け入れを再開した。しかしながら、その後も職員不足は解消されず3月から緊急の場合に限り相談を受け付け、ABC棟、

他部署の協力を得て出来る限りの入所調整を行った。センターに限らず地域でも重症心身障害児者の利用できる短期入所施設は受け入れを休止するなどしており、地域課題となっている。引き続き病院や老健など他機関との情報共有や連携を行い、利用者の理解・協力を得ながら、安心して利用できるよう、家族の支えになれるよう努力していく。

計画相談業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
総契約数	118	118	117	117	117	118	119	119	119	120	121	120	1423	1489	95.6%
立案数	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	4	6	66.7%
モニタリング数	8	12	13	11	10	7	9	16	10	38	8	14	156	180	86.7%
合計	8	12	13	11	10	8	10	16	10	39	9	14	160	186	86.0%

2024年度にご逝去や他施設への長期入所決定による事業所移行があり10名が契約終了となった。その後長期入所された方について、一部外部事業所から引継ぎ計画立案につながった。毎月のセンター内計画相談担当者会議では積極的に加算対象について確認、また勉強会を行い意識改革に努めた。今年度より、各棟長期入所利用者のモニタリングについて、各棟サービス管理責任者が日程調整等の窓口となり行うことに変更となる。毎年1月は長期入所者のモニタリングや更新が集中し相談支援専門員の業務負担が顕著である。新規契約については、相談室業務全体の状況により再開していけるよう努める。

(5) 安全管理部門

① 医療安全

インシデント・アクシデント件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
レベル	0	8	11	14	6	5	7	12	8	11	11	7	16	116	153	75.8%
	1	15	22	18	30	26	36	22	21	22	22	26	28	288	310	92.9%
	2	16	12	14	19	17	13	8	14	8	8	8	11	148	128	115.6%
	3-a	4	1	3	0	2	0	4	3	3	3	5	4	32	33	97.0%
	3-b	0	1	0	0	1	0	0	3	1	0	0	1	7	7	100.0%
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

・インシデント総数は591件（前年度631件）となり、患者影響レベルを示す年間インシデント指数は昨年度の1.09より1.186とやや上昇し、ヒヤリハット段階での報告が減少している。3bは7件あり、胃管の気管留置・透視台から転落が各1件、骨折は5件で、発症不明の骨折が多く陳旧性骨折での発見もあった。加齢とともに骨粗しょう症となる利用者も多く、リハ課も含めた多職種による対策の検討を行った。

・事故発生要因では、「確認を怠った」が337件57.5%で前年度に引き続き最多であった。2025年度安全対策部会では「確認」をテーマとして取り組んだ。法定研修に「安全確保に繋がる確認業務」「効果的なダブルチェック」を取り入れ、医療安全週間で「指差し呼称強化週間」を実践した。アンケート調査では、各棟の確認業務について課題が浮き彫りになり、2つの識別子による照合が当院でも重要との結論に至った。具体策として今年度は「誤認防止ベッドネーム写真付き・車椅子カード・物品のフルネーム記載」の取り組みを開始。「指差し呼称の推進」と「効果的なダブルチェック」も含め、2026年度へ引き継ぐ。

- ・BCP 策定では、引き続き安全管理の視点で第3版の更新に協力した。なかでも資源を有効使用・業務維持・安全確保目的にてMEと協力し「災害時の電力確保」の研修を実施した。
- ・医療安全全国共同行動に加入から2年、安全な医療の推進に必要な情報やノウハウを習得でき、当センターの対策に非常に役立っている。

② 感染予防対策

新型コロナウイルスワクチン接種件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
接種件数	0	0	0	0	0	0	19	89	7	1	0	0	116	151	76.8%

・新型コロナウイルスワクチン接種について

2025年度は、利用者と利用者家族、職員と職員家族を対象としてワクチン接種を実施する。長期入所者の接種は82名(88%)、職員は13名、それ以外(外来、家族)は21名の接種者数であった。コロナワクチンに至っては、秋からの公費負担以外は自費での接種となり費用面の負担も大きい事、また国内での接種者数の減少等からも、センター内において接種者が減少する一因につながっていると考える。

・新型コロナウイルス感染者数

2025年度の感染者数は、長期入所者は5名(C棟11月4名、1月1名)、職員(自己検査含む報告者数)が23名であった。入所者においては、C棟で11月に同居室内で4名が同時期に発症した。入所者と接触する職員からの発症者はなく、感染経路は不明であった。1月にも同じくC棟で別の入所者1名、職員2名がほぼ同時期に発症したが、感染経路は特定できなかった。C棟内においては、入所者の発症後、すぐに棟内で感染対策を実施し(11月・1月)、他の入所者に拡大する事はなかった。入所者は発症後10日~12日目までにコロナ抗原検査陰性と回復を確認し、感染対策を解除とした。

日常でのセンター全体での感染対策については、ボランティア活動やほのぼの祭での入所者の活動制限の緩和や、コロナ禍で取り決めた感染対策の見直しを図った。今後も流行を繰り返す事が予測され、利用者が罹患すると2次合併症を併発しやすく注意する必要があるが、平時において外出や外泊、日中活動が継続できるよう、今後も感染対策について感染管理委員会内で見直しを図っていく。

(6) 管理部門

① 職員採用状況(非常勤含む)

生活支援員は、退職者が多く、採用も厳しい状況が続いている。

職種	医師	歯科医師	当直医師	看護師	准看護師	生活支援員	栄養士	薬剤師	歯科衛生士	理学療法士	言語聴覚士	福祉相談員	当直事務員	看護助手	運転員	登録ヘルパー	事務クラーク	調理員	合計
採用者	4	1	1	14	0	3	1	3	2	0	3	1	1	0	3	0	3	1	41
退職者	4	2	10	10	1	11	1	1	3	1	0	0	0	1	1	2	2	0	50

② 事業継続計画（BCP）の取組状況

9月に夜間想定訓練を実施。少人数体制での災害対策本部の立上げ、被害状況の情報収集、全体放送による情報共有、医療機器の動作確認など初動対応訓練を実施した。指揮命令系統の不明確さ、全体に情報を共有する難しさ等、多くの課題が抽出された。

2月には事業縮小基準の決定、利用者の食事検討、3日間のシフト作成を中心とした、発災後24時間の行動確認の訓練を実施。縮小基準30%を決定し、最少人数での業務の組立て、泊まり込みでの勤務を想定したシフト作成、食事提供を災害食に変更する基準などの行動確認をおこなった。災害時の勤務時間の再検討（12時間勤務等）、職員の食事提供場所や休憩場所の確保など、具体的な内容を想定する訓練となった。



9月 BCP 訓練①

災害対策本部情報収集確認



9月 BCP 訓練②

臨床工学技士による人工呼吸器動作



2月 BCP 訓練①

第3報報告後、事業縮小基準の決定



2月 BCP 訓練②

食事提供検討 3日間のシフト作成検討

③ 保育室ひかり

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通園児総数	240	286	253	270	201	295	327	250	271	240	246	301	3,180	3,060	103.9%
1日平均	9.6	11.9	10.1	10.4	8.0	12.8	12.5	10.0	11.2	10.4	11.1	12.0	10.8	10.4	104.0%

指導監査により管理者専従配置が必要と判断され、1年半分の遡及減算が生じた。一方で、担当課長を新たに配置し保育体制の強化を図ったことにより、1日平均利用児数は前年度比で0.4名増加した。

④ 病児保育室あさひ

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通園児総数	27	42	58	40	41	34	47	66	51	37	70	49	562	561	100.2%
1日平均	1.3	2.1	2.8	1.8	2.1	1.7	2.1	3.7	2.6	1.9	3.9	2.3	2.4	2.3	102.0%

延べ利用人数は、前年度とほぼ変わらない。11月はインフルエンザA型、2月はインフルエンザB型が流行し、利用人数が増えている。同病名同室の預かりに関しては、病児保育室内での二次感染を防止するために、検査の有無、症状などを考慮し実施した。そのため、実際は一人一室の預かりになることが多かった。

IV 地域療育センターあおば

全体目標として掲げた感染予防対策については、年2回の感染研修および実践研修を実施し、職員の意識向上につながった。

また、こども家庭庁より発布された児童発達支援ガイドラインに基づき、各課でガイドライン内容の理解を深め、現状の支援の振り返りを行った。家族支援の質向上に向けた取り組みを検討し、利用児および家族のニーズに応えられる体制整備に努めた。児童発達支援センターとして求められる4つの中核機能については、専門職による支援の充実、家族支援、地域連携の強化、保育園・学校との連携、訪問支援などを実施した。センターとして果たすべき役割については、引き続き検討を重ねながら事業展開を進めていく。

電子カルテについては、事前準備と運用体制を整えたことで、稼働開始後も大きな問題なく運用することができたことは大きな成果である。

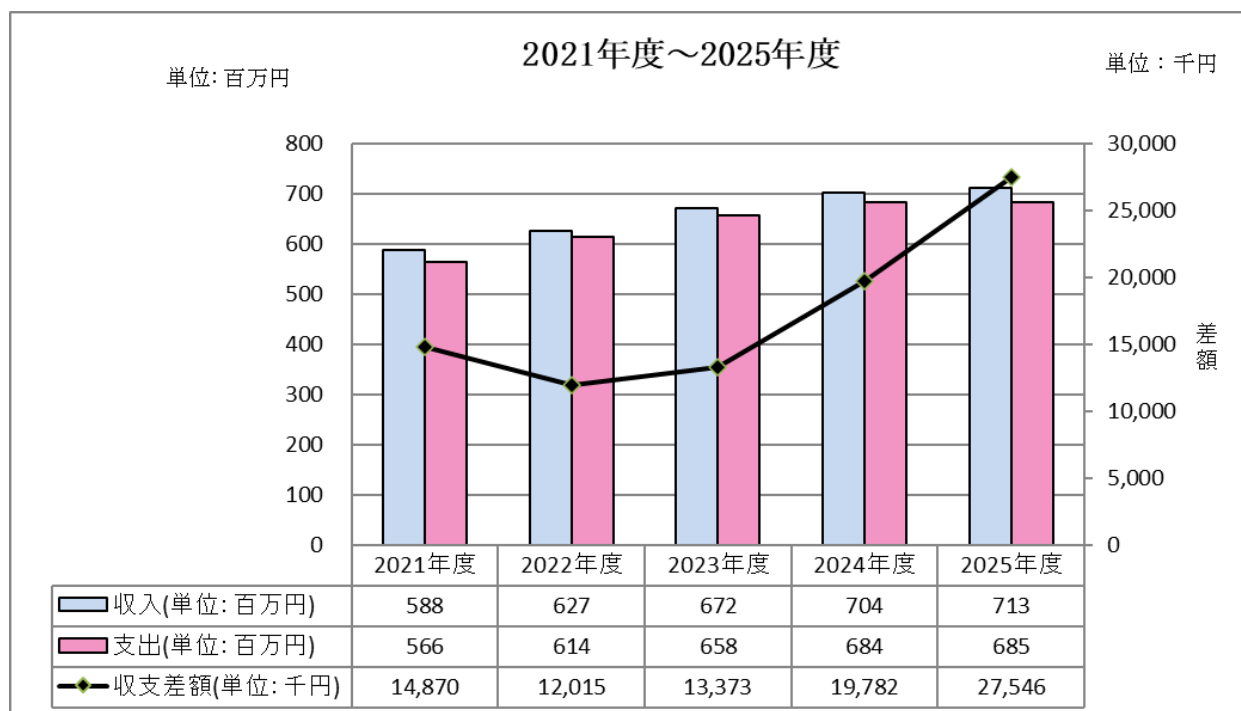
一次支援事業所については、当初は初診までの利用児を対象としていたが、対象児童の範囲や運用方法に課題が多く見られた。今後は施設の充実を目指し、より適切な運用体制の構築を検討していく。

職員育成計画については、外部研修および施設内研修を実施し、職員のスキル向上につなげることができた。今後も継続的な育成体制の強化を図り、専門性の向上に努めていく。

1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
外来診療	38.7 名/日	36 名/日	93.0%
児童発達支援	48.0 名/日	49.3 名/日	102.7%
児童発達支援事業	9.7 名/日	10.1 名/日	104.1%
障害児相談支援事業	180 名	146 名	81.1%
保育所等訪問支援	80 名	80 名	100.0%

2 資金収支差額の推移



当年度は、障害福祉サービス等事業収入が安定して推移した。支出面では、修繕費を補助金により計上できたことで、大きな負担を抑えることができた。利用者契約数は年度末に減少したものの、全体としての収支差額は前年度比 39% 増となり、安定した運営状況を維持する結果となった。

3 各部署の報告

(1) 診療課

① 医師診察

診察（診療所）では、未就学児を小児科、学齢前期児を児童精神科、肢体不自由児を小児科とリハビリテーション科、他の神経発達症や知的障害の合併がない児の難聴や吃音などを耳鼻科で対応している。摂食外来と補装具外来では必ず主担当科からの併診としているため、新患はゼロである。新患件数の 81.8% が未就学児で、この数年の傾向と同様であった。

区分	新規診療	再診	計
未就学	184	847	1,031
学 齢	41	309	350
合 計	225	1,156	1,381

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
新規診療	リハビリ科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	児童精神科	未就学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%
		学齢	6	8	7	7	6	7	8	4	4	5	5	6	73	72	101.4%	
	小児科	未就学	26	27	18	28	28	24	23	17	22	20	20	18	271	280	96.8%	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	耳鼻科	未就学	5	2	6	4	9	6	4	3	3	2	5	2	51	49	104.1%	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計	未就学	32	29	24	32	37	30	27	20	25	22	25	20	323	333	97.0%	
		学齢	6	8	7	7	6	7	8	4	4	5	5	6	73	72	101.4%	
計		38	37	31	39	43	37	35	24	29	27	30	26	396	405	97.8%		
再診療	リハビリ科	未就学	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	5	40.0%	
		学齢	2		1	1	13	1	0	1	0	1	2	2	24	10	240.0%	
	児童精神科	未就学	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	3	28	10.7%	
		学齢	22	30	35	33	22	35	42	29	36	38	26	40	388	430	90.2%	
	小児科	未就学	53	145	182	104	107	173	144	107	123	146	133	109	1,526	1,532	99.6%	
		学齢	9	15	7	10	5	4	5	2	4	3	1	2	67	66	101.5%	
	耳鼻科	未就学	4	4	10	5	8	5	6	5	7	4	11	11	80	58	137.9%	
		学齢	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	25.0%	
	摂食外来	未就学	0	6	0	7	0	8	0	8	0	7	0	6	42	44	95.5%	
		学齢	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	2	5	6	83.3%	
補装具外来	未就学	1	5	1	5	4	8	11	12	11	5	4	9	76	102	74.5%		
	学齢	14	14	11	7	6	9	7	3	12	6	5	9	103	152	67.8%		
小計	未就学	58	160	193	121	119	196	161	132	142	162	148	137	1,729	1,769	97.7%		
	学齢	47	60	54	52	46	50	54	35	52	49	34	55	588	668	88.0%		
	計	105	220	247	173	165	246	215	167	194	211	182	192	2,317	2,437	95.1%		
総計			143	257	278	212	208	283	250	191	223	238	212	218	2,713	2,842	95.5%	

2025年度は、4月に電子カルテ導入のため予約枠を減じたスタートとなり、2022年度以降増加傾向にあった年間の受診者総数は、前年度比95.5%と減少に転じた。初期支援につながる初診件数に比べると再診件数に影響が出ていたが、心理師やソーシャルワーカーによる相談などで支援を行った。

② 訓練等

(件)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
機能訓練	理学療法	未就学	58	71	78	95	75	80	80	84	85	80	64	72	922	994	92.8%
		学齢	41	45	47	42	41	42	36	38	51	33	32	40	488	591	82.6%
	作業療法	未就学	94	119	114	118	119	145	129	118	148	125	127	144	1,500	1,315	114.1%
		学齢	26	28	26	28	26	25	20	22	28	20	23	27	299	300	99.7%
	言語療法	未就学	56	68	91	108	83	88	111	81	96	81	87	87	1,037	1,004	103.3%
		学齢	10	12	10	16	15	8	18	12	15	10	11	12	149	219	68.0%
	聴力検査	未就学	8	25	36	30	20	24	18	11	12	10	13	13	220	231	95.2%
		学齢	1	3	0	1	0	0	0	1	1	0	0	2	9	15	60.0%
	合計	未就学	216	283	319	351	297	337	338	294	341	296	291	316	3,679	3,544	103.8%
		学齢	78	88	83	87	82	75	74	73	95	63	66	81	945	1,125	84.0%
計		294	371	402	438	379	412	412	367	436	359	357	397	4,624	4,669	99.0%	
心理指導	心理療法	未就学	56	157	207	82	100	136	237	118	139	158	129	118	1,637	1,719	95.2%
		学齢	25	14	13	4	12	7	16	6	13	10	5	18	143	136	105.1%
	(うち心理検査)	未就学	28	27	36	33	41	45	45	41	57	53	34	29	469	455	103.1%
		学齢	25	14	13	4	12	7	16	6	13	10	5	18	143	134	106.7%
栄養相談	未就学	3	2	3	2	4	1	2	2	0	0	2	0	21	15	140.0%	
	学齢	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	200.0%	

機能訓練も外来診療と同様に4月の電子カルテ導入開始時期は訓練枠を減らしていたため、全体的には微減。

- ・PT：肢体不自由児の新患の減少が主な要因と思われ、訪問リハビリテーションの充実や周産期障害の重症化が原因ではないかと推察している。
- ・OT：新人育成が進んだことなどにより前年度より件数を伸ばすことができ、待機期間はあるもののニーズに対応することができた。
- ・ST：全体的に件数は減少したがこれは療法士の療養休暇が影響している。聴力検査に関しては新規オーダーが少ない一年であったため減少した。
- ・心理指導：職員の欠員がなく、ニーズに対してほぼ対応できた。

栄養相談は利用児のニーズや年齢に応じて対応しているので、年度によって実施件数は様々である。

(2) 通園課

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
設定日数	716	1,114	1,059	1,308	642	1,123	1,081	1,074	1,067	887	948	847	11,866	12,121	97.9%
出席日数 (実績)	630	958	947	1,106	550	968	915	831	888	749	729	727	9,998	10,105	98.9%
出席率	88.0%	86.0%	89.4%	84.6%	85.7%	89.6%	84.6%	77.4%	83.2%	84.4%	76.9%	85.8%	84.3%	83.4%	101.1%
在籍児数	106	108	109	109	109	110	110	110	110	110	109	109			

2025年度も共働き世帯の増加や家庭事情により、高頻度を推奨したくても利用できる頻度は週2が限度という世帯が多数であった。その状況を踏まえ、福祉型クラスは週5を2、週3を4、週2を7クラス設定した。また、家庭のニーズと療育目標を加味して、週5～週2のシェアクラスを1クラス設定した。医療的ケアを必要とする児童や肢体不自由児の設定クラスは1クラスであった。10部屋16クラス設定で、合計109名が利用した。新型コロナウイルスによる児童の欠席は前年度に比べ減少傾向ではあったものの、秋以降にインフルエンザが流行し、11～12月は出席率の減少がみられた。両親共働き世帯が増加する中、予定を立てて参加する親子日をより充実したものとなるように、プログラムの目的を示した用紙と振り返りシートを活用したり、クラス保護者会を開催し、児童への療育だけでなく、保護者支援にも力を注いだ。



(3) こども支援室こだち

① 児童発達支援事業所

(名)

クラス名	登園日数/週	曜日	4歳	5歳	合計	前年度合計	前年度比
かえで①クラス	1日	月		4	4	6	66.7%
かえで②クラス	1日	火		6	6	6	100.0%
かえで③クラス	1日	水		6	6	6	100.0%
かえで④クラス	1日	木		6	6	6	100.0%
かえで⑤クラス	1日	火		6	6	6	100.0%
かえで⑥クラス	1日	水	6		6	6	100.0%
かえで⑦クラス	1日	木		6	6	6	100.0%
かえで⑧クラス	1日	金		6	6	7	85.7%
合 計			6	40	46	49	93.9%

2025年度はこれまでの年間のスケジュールを見直し、4月から療育を開始することで、年度途中で事業所都合で休室した際に療育日数保証できるように振替日を設定した。1クラス6名、8クラス、定員48名を充足してスタートしたが、年度途中で退園した方がいたため、46名で年度末を迎えた。療育提供においては、利用児の状態を鑑み、年度途中で個別療育に切り替えるなど、利用児一人ひとりの療育課題を捉え、最大限療育効果を生み出せるよう柔軟に対応した。保護者支援としては、懇談日の設置のほか、年長児の保護者に対する就学準備に特化した勉強会を年4回開催した。また、利用児が所属する保育園・幼稚園への訪問を行うなどの地域支援や、年度末には年長利用児の就学する学校への引継ぎなど移行支援にも取り組んだ。

② 児童発達支援事業所出席率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
設定日数	103	168	192	228	106	106	218	188	138	138	160	118	1,863	1,952	95.4%
出席日数(実績)	100	151	172	189	95	95	176	134	110	117	118	103	1,560	1,624	96.1%
出席率	97.1%	89.9%	89.6%	82.9%	89.6%	89.6%	80.7%	71.3%	79.7%	84.8%	73.8%	87.3%	83.7%	83.2%	100.6%
在席児数	48	48	48	48	47	47	47	47	46	46	46	46			

前年度同様に、横浜市から指定されている基準を満たせるよう、各クラス年間41日の療育日数を確保した。保育園・幼稚園の行事への参加を理由とした欠席や、秋以降には感染症の流行による欠席が立て続き、出席日数が落ち込む月もあったが、概ね前年度同様の出席率となった。

③ 外来グループ

[たんぼぼの通園児童数]

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延人数	9	27	17	17	0	36	24	18	12	13	18	8	199	337	59.1%

〔くろーばーの通園児童数〕

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延人数	0	3	2	4	2	4	7	4	5	6	4	2	43	74	58.1%

1回～2回/週 14:30～15:45

〔肢体不自由児を対象としたいちごグループの通園児童数〕

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延人数	0	2	2	3	3	0	1	2	2	1	2	0	18	44	40.9%

1回/月(5月～2月) 9:30～10:40

〔肢体不自由児を対象としたぱたぱたグループの通園児童数〕

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延人数	0	4	4	2	3	3	4	1	3	1	3	0	28	48	58.3%

1回/月(5月～2月) 9:30～10:30

知的発達系「たんぼぼグループ」は、前年度同様に週3日稼働し、年3クール(4-6月、9-10月、12-3月)、1クールあたり5-6名で実施した。導入された利用児数は大きく変わらないものの、保育園・幼稚園の行事への参加を理由とした欠席や、保護者の就労状況を理由とした欠席が増え、延べ人数は前年度を大きく下回った。

知的発達系の申込制ひろば「くろーばー」は、月1-2回開催した。グループと同様に就労世帯や民間療育機関の増加により、ひろばに参加される方は減少傾向にある。一方で、参加された方からは、お子さんを安心して遊ばせながら職員に相談できる、保育園・幼稚園での様子に近い姿を間近に見てお子さんへの理解を深められるなどメリットを感じていただけた。

肢体不自由系のグループは、昨年度同様に運動発達の状態によって「いちごグループ」と「ぱたぱたグループ」の2グループに分け、それぞれ月1回(5-2月の年10回)実施した。導入された利用児数が少なかったこともあるが、どちらのグループにおいても体調不良による欠席や、保護者の就労状況を理由とした欠席が多く、知的発達系同様に延べ人数が前年度を大きく下回った。

(4) 相談課

① 相談業務

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話	未就学	277	323	331	333	365	411	432	742	693	592	545	549	5,593	4,259	131.3%
	学齢	42	24	53	50	51	43	28	34	64	35	35	41	500	383	130.5%
面接	未就学	49	67	49	69	51	76	68	57	75	56	63	58	738	468	157.7%
	学齢	26	9	15	15	19	9	8	15	8	19	20	15	178	176	101.1%
文書	未就学	2	0	2	0	2	0	6	2	4	1	4	0	23	92	25.0%
	学齢	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	4	50.0%
合計	未就学	331	369	383	402	422	487	452	748	716	609	575	552	6,046	4,819	125.5%
	学齢	68	31	68	65	76	52	19	36	60	41	44	47	607	563	107.8%

電話、面接等ソーシャルワーカーによる直接の相談支援対応が、未就学児・学齢児とも増加傾向にあり、引き続きニーズの高さがうかがえる。

② 関係機関調整

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話	未就学	139	162	139	169	215	260	251	290	285	260	291	287	2,748	3,911	70.3%
	学齢	33	27	29	26	59	9	15	16	15	37	16	12	294	294	100.0%
来所 /出張	未就学	50	48	55	62	35	44	30	68	51	173	48	56	720	237	303.8%
	学齢	9	2	4	7	4	5	0	0	2	6	5	3	47	101	46.5%
文書	未就学	22	21	13	10	12	3	23	6	3	2	4	10	129	92	140.2%
	学齢	9	1	12	2	0	3	5	0	4	2	3	32	73	4	1825.0%
合計	未就学	211	231	207	241	262	307	304	364	339	435	343	353	3,597	4,240	84.8%
	学齢	51	30	45	35	63	17	20	16	21	45	24	47	414	399	103.8%
	総計	262	261	252	276	325	324	324	380	360	480	367	400	4,011	4,639	86.5%

未就学児の電話件数が前年度比 70.3%の 2,748 件と減少している一方で、来所・出張による件数が約 3 倍の 720 件と増加しており、相手機関との直接対応・調整が必要なケース、多機関連携・打合せが必要なケース等が増加している。

③ 巡回相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
保育園	0	9	8	11	5	5	6	8	3	5	1	0	61	59	103.4%
幼稚園	0	2	3	1	0	3	1	0	0	0	1	0	11	21	52.4%
合計	0	11	11	12	5	8	7	8	3	5	2	0	72	80	90.0%

巡回訪問は、訪問先の保育園・幼稚園の申請を受けて実施しており 2025 年度は前年度の 9 割、72 件となっている。訪問先の比率としては、保育園が 61 件(85.9%)、幼稚園が 11 件(15.3%)と保育園の方が例年多い傾向にある。

④ 障害児相談支援事業（利用計画書作成件数）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
計画作成	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	141	146	164	89.0%
継続計画作成 (モニタリング)	1	0	0	32	13	14	21	19	41	2	0	18	161	145	111.0%
合計	3	1	2	32	13	14	21	19	41	2	0	159	307	309	99.4%

4月～6月の計画作成5件は、通園への年度途中の新規入園児分であり、3月の141件は、次年度2026年度の計画作成分となっている。3月の作成分141件について前年度の161件と比較すると20件減少しており、内訳としては通園が8件減の98件、こだちは9件減の39件、外来継続児は3件減の4件となっており、通園、こだちが定員に満たない形で2026年度のスタートをすることとなったことが件数に影響している。

⑤ 保育所等訪問支援事業

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
保育所等訪問支援事業	5	1	8	10	1	6	3	14	8	14	5	5	80	72	111.1%

保育所等訪問支援事業は、2025年度80名、前年度72名、前々年度84名実施しており、年度毎の申請数やニーズ等によって実施数に幅が見られる。国のガイドラインに沿って実施した「自己評価アンケート」では、保護者、訪問先から高い評価をいただいております、引き続き丁寧で質の高い支援の提供を続けていく。

⑥ 学校支援事業

	上期	下期	合計
実支援学校数	15 校	2 校	17 校
訪問件数(件)	28 件	12 件	40 件
内 コンサルテーション	24 件	12 件	36 件
内 研修	4 件	0 件	4 件

学校支援事業は、依頼を受けた青葉区内の小学校にソーシャルワーカー、心理士等が直接訪問し、コンサルテーション(児童が教室にいる状況での授業参観と振り返り等の情報共有・アドバイス)や教員向けの研修会を実施するものであり、学校側からの依頼、ニーズはほとんどコンサルテーションとなっている。コンサルテーションの実施時期は上期が 24 件、下期が 12 件であり新学年のクラス編成後の比較的早い時期の訪問支援ニーズが高い。

⑦ 地域ニーズ対応事業

ア 保護者のためのこころのケア相談

保護者支援	面接	3 件
	電話	1 件
	導入検討	2 件
	事前カンファ	1 件
	事後カンファ	3 件
S W 支 援 (ス ー パ ー バ イ ズ)	ケース相談	6 件
	経過報告	3 件
	SW面接への同席	0 件
	その他(メール等)	0 件

こころのケア相談では、事業の委託をしている精神保健福祉士(大学教授)による、支援を要する保護者への直接支援と、ケース支援を行うソーシャルワーカーへのスーパーバイズ支援の 2つの内容を実施した。保護者支援では、精神保健福祉士による直接支援である面接を 3 件、電話による相談支援を 1 件実施したほか、支援の導入に向けたケース担当者との導入検討や事前カンファ、事後カンファ等を行っている。

ソーシャルワーカーへのスーパーバイズ支援では、障害児を抱えている保護者の不安やこころの揺れ、メンタルヘルスに配慮が必要なケースの相談や経過報告においてアドバイス等を受け、保護者支援の質の向上を図っている。

イ あおばであそぼ(ひろば事業)

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延べ利用児数	3	2	6	2	5	8	1	2	3	3	1		36	32	112.5%

あおばであそぼ(ひろば事業)は「子育て支援や療育センターそのものへの理解を深めていただくため、施設を開放し、遊び場を提供することで育児の不安や発達への心配感に寄り添うこと」を目的としている。青葉区福祉保健センターの発達相談で同事業の案内、紹介を経て参加された方が全体の 3/4 を占めている。参加家族のニーズ等に合わせ、月 1 回、土曜日の午前中に実施し、延べ利用児数は前年度よりやや多い 36 名が利用した。

⑧ その他 独自事業

ア はろお！（一次支援事業）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
開催回数	38	37	39	43	40	37	38	37	38	37	35	38	457	428	106.8%
延べ利用児数	64	54	66	76	52	54	60	45	78	66	51	57	723	685	105.5%

「はろお！」（一次支援事業）は、2024年4月に青葉台に事業所を開設、原則1日2グループを週5日開催している。2025年度は、開催回数が前年度比の106.8%、利用児数が前年度の105.5%といずれも増加している。また、青葉区域のニーズを踏まえたあおば型の一次支援事業の展開として、土曜日開催や園訪問等を実施している。

イ みんなであそぼ（地域支援事業）

（名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延べ利用児数	4	4	3	8	8	5	6	6	6	7	10	8	75	67	111.9%

一次支援事業所「はろお！」の保育士・ソーシャルワーカー・OT等が月に各1回、すすき野地域ケアプラザ、奈良地域ケアプラザへ出向いて遊びの場を共有しながら、成長・発達が気になる乳幼児の様子を伺い、保護者からの相談も受ける事業を実施している。延べ利用児数は、今年度75名、前年度67名、前々年度87名と変動があるが、地域に出向いて支援していくアウトリーチ事業として、引き続き実施し、地域ニーズに応じていく。

(5) 公開講座

あおば講座 I

	公開日	テーマ	講師	申込人数	参加人数
第1回	6月18日	わかりやすさって何？ ～生活やあそびに活かせる療育のコツ～	地域療育センターあおば 通園園長	5	4
第2回	9月19日	特別講演会 自閉スペクトラムの子どもたちを育てる	医師 吉田友子先生	41	23
第3回	10月22日	幼少期の運動遊びを通じた体作り	横浜医療福祉センター港南 高木PT	3	1
第4回	11月7日	「きょうだい」のこと考えてみよう	NPO法人のはらネットワーク 燕昇司 知里	2	1
第5回	1月14日	中学以降の過ごしを知ろう ～将来の見通しのために～	元横浜市特別支援教育総合センター 作業能力検査相談員 阪井 紀雄先生	9	5
第6回	2月16日	わが子の「宿題」との付き合い方	地域療育センターあおば 心理師チーム	2	0

あおば講座Ⅱ（公開日～年度末までの動画配信講座） ＊センターあおば利用の保護者が対象

	公開日	テーマ	講師	申込人数	視聴回数
第1回	7月18日	わかりやすさって何？ ～生活やあそびに活かせる療育のコツ～	地域療育センターあおば 通園園長	27	70
第2回	10月19日	特別講演会 自閉スペクトラムの子どもたちを育てる	医師 吉田友子先生	166	273
第3回	11月22日	幼少期の運動遊びを通じた体作り	横浜医療福祉センター港南 高木PT	27	65
第4回	12月7日	「きょうだい」のこと考えてみよう	NPO法人のはらネットワーク 燕昇司 知里	24	60
第5回	2月14日	中学以降の過ごしを知ろう ～将来の見通しのために～	元横浜市特別支援教育総合センター 作業能力検査相談員 阪井 紀雄先生	45	63
第6回	3月16日	わが子の「宿題」との付き合い方	地域療育センターあおば 心理師チーム	24	35

あおば講座については予定通り上記テーマで年6回実施した。実施した内容を動画にしてインターネット上に一定期間公開することでより多くの対象者に視聴いただく形をとっており、時間と場所の制限が少ない、ビデオ視聴参加の方が主となっている。

(6) 管理課

職員採用状況（非常勤職員は除く。）

職種	医師	看護師	理学療法士	作業療法士	臨床心理士	言語聴覚士	保育士	児童指導員	福祉相談員	事務員	合計
採用者	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3
退職者	0	0	0	0	0	0	5	2	1	2	10

職種によっては応募自体がなく、欠員が解消されない状態が続いた。

V たっちほどがや

目標に掲げていた、感染対策の制限緩和を行いながら、外部の方を招いてのイベント等を行うことができた。利用者の高齢化に伴う機能低下は否めず、常時医療を必要とする方も増えてきている。そのなかでも、在宅リハビリを導入し日常の姿勢管理や車椅子の乗り方などを知ることで、少しでも現状維持ができるようにしている。

短期入所では、前年よりも若干利用数が伸びている。他事業所が短期入所事業を再開できないなかで申込件数は伸びている。相談事業では、区内4か所の事業所で協定を締結し、機能強化型の加算を取ることができている。

ほどがやの生活介護事業では、月1回の外出活動は安定して行うことができた。また、利用者本人が参加する個別支援会議については、全員参加することができた。いずみの生活介護事業では、医療ケアが必要な方も増え、一人ひとりの介護度が上がってきており、職員の労力も増大している。そのなかでもアットホームな雰囲気は保たれており、意思決定支援による外出も10件となり、利用者・家族からも好評であった。

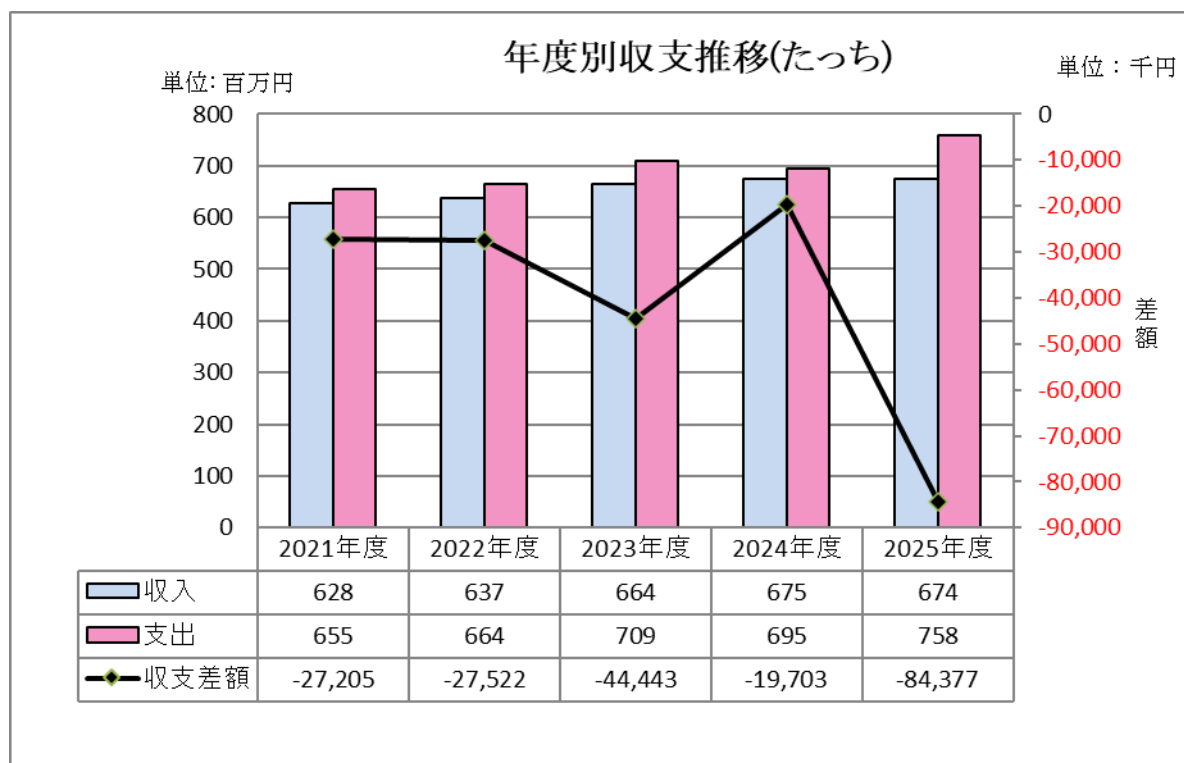
放課後等デイサービス事業では、一度体調を崩すと長引いてしまう方やメンタル面で利用できない方もいたが、電話連絡を充分に行い継続して支援を行ってきている。

全事業、特に施設入所では、職員不足は変わらず人員確保が厳しい年度であった。

1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
長期入所	41.2 名/日	40.3 名/日	97.8%
短期入所	7.8 名/日	7.0 名/日	89.7%
生活介護（通所）	20.2 名/日	19.8 名/日	98.0%
たっちいずみの生活介護（通所）	18.0 名/日	16.4 名/日	91.1%
たっちいずみの放課後等デイサービス	4.0 名/日	3.4 名/日	85.0%

2 資金収支差額の推移



【収入】 報酬改定による新加算取得及び利用延べ数の維持により前年とほぼ横ばい。

【支出】 固定資産の取得と修繕費用の増加、人材紹介料の増加により前年比+63百万円増。

3 施設全体の実績

(1) 入所支援課

入所支援・短期入所

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期入所 42枠	定数	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	504	504	100.0%
	実績数	1,230	1,219	1,177	1,271	1,278	1,230	1,241	1,200	1,220	1,248	1,136	1,244	14,694	15,187	96.8%
	1日平均	41.0	39.3	39.2	41.0	41.2	41.0	40.0	40.0	39.4	40.3	40.6	40.1	40.3	41.6	96.8%
	占床率	97.6%	93.6%	93.4%	97.6%	98.2%	97.6%	95.3%	95.2%	93.7%	95.9%	96.6%	95.5%	95.9%	99.1%	96.7%
短期入所 8枠	実績数	222	220	223	223	195	220	218	202	212	207	202	219	2,563	2,533	101.2%
	1日平均	7.4	7.1	7.4	7.2	6.3	7.3	7.0	6.7	6.8	6.7	7.2	7.1	7.0	6.9	101.8%
	占床率	92.5%	88.7%	92.9%	89.9%	78.6%	91.7%	87.9%	84.2%	85.5%	83.5%	90.2%	88.3%	87.8%	86.8%	101.2%
合計 50枠	定数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600	600	100.0%
	実績数	1,452	1,439	1,400	1,494	1,473	1,450	1,459	1,402	1,432	1,455	1,338	1,463	17,257	17,720	97.4%
	1日平均	48.4	46.4	46.7	48.2	47.5	48.3	47.1	46.7	46.2	46.9	47.8	47.2	47.3	48.6	97.3%
	占床率	96.8%	92.8%	93.3%	96.4%	95.0%	96.7%	94.1%	93.5%	92.4%	93.9%	95.6%	94.4%	94.6%	97.1%	97.4%

(2) 計画相談業務 ()内は児童 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新規契約件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
計画更新件数	0	6	4	2(1)	10	6	3	4	9(1)	1	2	3	50(2)	45(7)	111.11%
モニタリング件数	9	14	10(1)	5	6	8	6	14	4	7(1)	14	10	107(2)	106(5)	100.94%
合計	9	20	14(1)	7(1)	16	14	9	18	13(1)	8(1)	16	13	157(4)	153(12)	103.97%

(3) 通所・在宅支援課

ほどがや生活介護事業 (名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所者総数	464	449	452	486	425	436	457	376	399	401	355	426	5,126	5,019	102.1%
1日平均	21.1	20.4	21.5	21.1	20.2	19.8	19.9	18.8	18.1	20.1	17.8	18.5	19.8	19.5	101.4%

(4) たっちいずみの課

①「和音」(生活介護) (名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所者総数	377	349	352	364	331	324	357	281	312	304	301	324	3,976	3,928	101.2%
1日平均	18.0	17.5	16.8	16.5	16.6	16.2	16.2	15.6	15.6	16.0	16.7	15.4	16.4	16.2	101.4%

②「りずむ」(放課後等デイサービス) (名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所児総数	71	72	77	76	60	67	81	59	65	69	65	68	830	954	87.0%
1日平均	3.4	3.6	3.7	3.5	3.0	3.4	3.7	3.3	3.3	3.6	3.6	3.2	3.4	3.9	88.2%

(5) 地域交流

ボランティア受け入れ (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動回数	3	6	6	3	1	7	5	3	3	3	3	4	47	25	188.0%
活動延べ回数	7	11	11	10	3	18	9	5	5	5	6	9	99	25	396.0%

施設内行事

	行事内容	参加者
8月	夏まつり	入所利用者
10月	にこにこ祭	全員
12月	クリスマス会	各課

4 各部署の報告

(1) 入所支援課

日常生活を基本とし、活動や健康管理に努めた。ボランティアによる活動の再開や全体行事には地域外部団体、ご家族が参加され、施設の活気も戻りつつある。地域との繋がりやご家族との信頼関係の構築を進め、ご利用者の楽しみとして行事の開催を継続していく。

状態や意向に応じ、地域行事の参加や外出の機会も増え、社会参加も生活の楽しみとなった。神奈川県意思決定支援実践研修を通し、改めてご本人の理解を深め、ご本人が望む生活に向けて寄り添い、思いや希望の実現のための支援に努め、笑顔や感情の表出に変化が見られた。より豊かな生活を目指し、更に丁寧な支援の工夫が求められる。今後は、施設で生活されるご利用者全員に意思決定支援を推進していく。

一方、加齢に伴う体調不良から緊急受診、入院や機能低下が顕著であり、健康面での支援が課題となった。在宅リハビリや福祉機器の導入等、社会資源を活用しながら安全面の確保に努めた。ご利用者一人ひとりのライフステージの違いや障害特性と高齢化によるニーズの変化を柔軟に受け止める体制作りが必要である。

身体的ケアが増える中で、職員の人員不足が大きな負担となった。支援の充実を図るため、人材育成と確保も喫緊の課題である。



にこにこ祭



クリスマス会



ギター演奏



1日外出

(2) 在宅・通所支援課

①短期入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
申込件数	67	60	67	73	64	73	71	58	71	58	60	62	784	705	111.2%
利用件数	55	52	50	52	42	54	51	48	51	52	47	52	606	534	113.5%
利用不可※	12	8	17	21	22	19	20	10	20	6	13	10	178	96	185.4%

※利用不可は、満床等及びコロナウイルスの影響によりキャンセルやお断りが発生し入所対応ができなかった件数

短期利用のニーズも高まり、申し込み数が70名を超える時期もあり、利用調整に苦慮する時もあった。そのような状況下においても1日平均6～7名の受け入れを維持し、安定したサービス提供に努めた。一方で8月にはユニット内で感染症の発生により一時的に利用を制限せざるを得ない状況も発生した。利用者からのニーズは引き続き高く、短期入所事業としての稼働は継続できているが、入所支援課における人員不足が課題となっており、今後の安定した運営に向けた体制整備が求められる。

②計画相談

引き続き入所及び通所部門との連携を図り、各利用者の個別支援会議に参加することで、支援の一貫性と質の向上に努めた。また、保土ヶ谷区内における協働体制のもと、定例会議や情報交換、ケース検討を継続的に実施し、地域における相談支援の安定的な取り組みを行うことができた。

一方で職員1名の退職に伴い、運営体制の維持が課題となり、今後は人員確保と業務効率化の検討が必要である。

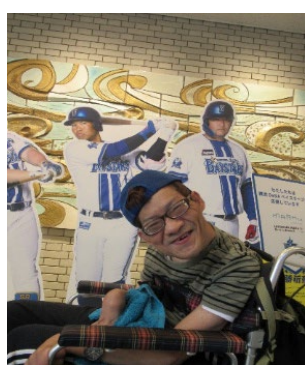
③生活介護

利用者の受け入れやサービス内容の充実に重点を置いて運営を行った。4月より新たに3名の利用者を受け入れた一方で、1月に長期入所、2月に転居と、計2名が契約終了となった。支援内容としては、午後の活動選択を再開し、利用者自身が意思決定しやすい環境作りを整え、個々のニーズや関心に応じた活動参加が促進された。

また、ボランティアの受け入れ体制を強化し、地域との関わりを深めながらイベントの実施回数を増加させた。活動プログラムについても多様化を図り、一日外出を安定的に実施できる体制も整えた。さらに地域における啓発活動にも積極的に参加し、社会参加の機会を増やした。



1日外出（みなとみらい）



街頭募金活動



活動参観(アコーディオン演奏)



たち万博



イエローリボン啓発活動

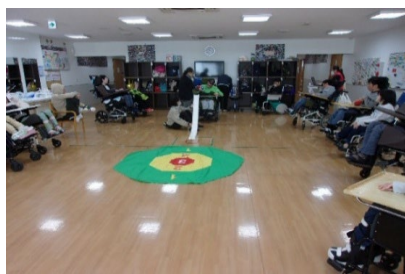


南京玉すだれ

(3) いずみの課

①生活介護

2025年度月平均利用者数は16.4人で、前年度とほぼ同様の数値であった。長期入所等で契約終了となった方たちの枠はできる限り現利用者の増回数と2名の新規利用者受け入れで対応したが、加齢と共に各利用者の状態・体調が繊細になってきていて、1度体調が崩れると回復までに時間を要し、休む期間も長くなってきている。また看護師によるケアを必要とする利用者も増えてきていて、支援員による日常ケアも増えている。月の平均利用者数は前年度と同様であっても、利用者1人ひとりの要介護度は上がっているため、職員の労力は増している。そうした中でも明るくアットホームな雰囲気は保たれており、利用者の意思決定支援による外出支援を10件行い、利用者・ご家族からとても好評であった。



ボッチャ



家族参観(エアトラ)



社会参加(共同募金)



夏祭り



クリスマス会



外出活動

②放課後等デイサービス

2025年度月平均利用者数は3.4人で、前年度とほぼ同様の数値であった。生活介護と同様で、繊細な体調の児童が多く、1度体調を崩し休むと、休みが長くなる傾向がある上、側弯の手術で1か月単位で休まれる児童もいて、平均利用者数に影響している。そうした中でも、メンタル面の理由で学校を長期間休んでいて、放デイ利用も途絶えていた利用者に対し定期的な電話支援を続け、利用再開に繋がったケースもあった。平均利用者数は前年度と同様であっても、医療的ケアや個別対応が必要なお子様が増えてきていて、職員の労力は増している。大変さの中でも、明るく、アットホームな雰囲気は保持されていて、サービス評価アンケートでも、子ども達がやりずむへ行くのを楽しみしているとの意見が多く見られた。



施設内散歩



カラオケ



外出(ゆめが丘ソラトス)



和音交流活動



地域交流 ハロウィン



スノーズレン

(4) 管理課

職員採用状況（非常勤職員は除く。）

職種	生活支援員	看護師	准看護師	保育士	福祉相談員	事務員	運転員	事務当直	合計
採用者	11	2	1	1	0	2	2	2	21
退職者	10	1	0	0	1	0	2	2	16

退職は比較的少なかったが、生活支援員の不足について、引き続き採用活動を行っていく。